



同窓会報



◆ 発 行 ◆ 宮城県仙台第二高等学校同窓会 〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1 ☎ 221-5651(直通)
 ◆ Eメール ◆ info@sendainiko-dousoukai.com
 ◆ 印 刷 ◆ 創文印刷出版株式会社 〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号 ☎ 222-0181

第 50 号



平成29年度入学式(校門前)

目次

巻頭言.....	2
支部総会・同期会等開催報告、寄稿.....	3
創立記念講演会、理事会からのお知らせ.....	14
支部・OB会連絡先.....	15
平成29年度年間行事予定、評議員名簿、 評議員会報告、理事会等記録.....	17
平成28年度収支決算・平成29年度予算(案).....	19
卒業式・同窓会入会式・入学式の報告、 定期戦祝勝会・ゴルフ対抗戦の報告、叙勲受章者 平成29年度同窓会総会のご案内、PT同懇のご案内.....	20
会費納入について、 平成28年度同窓会費納入状況.....	22
過去三年間の大学入試合格状況.....	23
部活動の記録.....	24
会員計報.....	29
今春の人事異動、メーリングリストの利用について、 交通の便、編集後記.....	30

巻頭言

「同窓会報第50号刊行にあたって」

同窓会会長 大井 龍司（高10回）



母校の同窓会報は、創刊以来判を重ねて本会報が節目の第50号になる。

同窓会報は昭和四十三年にB5版見開き四ページで創刊された。それには「同窓会報創刊を祝して」との金子太郎第二代同窓会長の挨拶文をはじめとして、第十二代校長、小針壽一先生のご挨拶ほか校内幹事挨拶、塩釜北陵会、昭和七年同級会、三期会等の近況報告、さらには桐原先生柔道八段取得、「北陵柔道」発刊などの記載がみられる。創刊号以来会報の冒頭を飾る題字は（平成二十五年の第46号から縦書きが横書きに変更）、その桐原知讓先生のご揮毫によるものである。金子会長は挨拶文中で「世相がいかに変遷しようと師弟愛と友情は何時まで変わらぬものと確信いたします。」と述べておられる。本会報が、今後とも同窓会員への母校の近況報告およ

び同窓会員相互の情報交換の場として十分に機能し、それが引いては母校の発展の一助となることを願ってやまない。

なお平成二十四年までは春季号が合せ刊行されていたが、それら二回の発刊費用が同窓会費納入額の約六割を占めること、加えて編集担当理事の過重な労作を軽減するために会報発刊を年一回とし、体裁をA4判オールカラー刷りに刷新した。その一方で、同窓会員へのタイムリーな情報伝達を図る目的で、平成二十六年（十二月）に北陵ニュースレターを創刊した。

さて先般、母校の同窓会とは直接関連のない会合で、山川民夫大先輩（中39回）にお目にかかり、いろいろとご高説を承る機会があった。その中で最近（二〇一五年十二月六日）仙台にも地下鉄東西線が開通し、仙台国際センター駅が母校仙台二高から徒歩で数分の近場にできたという話から、そもそも母校の学園環境がなんと素晴らしいかということ、それに北六番町から現地川内への移転がいかに難事業であったかということに話題が及んだ。その当時仙台二中が東北大学病院に隣接してお

り、時の病院長がご尊父である山川章太郎教授であったこともあり、先生は移転当時の経緯を良く知っておられたが、その数日後「僕が所持しているよりは同窓会長がお持ちになって」との書状が添えられて、河合絹吉先生ご自身が学校移転のご努力、ご苦勞を書き綴った貴重な「仙臺二中移轉秘史」なる冊子をご恵送下さった。同窓生諸氏には、河合先生の移転に際してのご苦勞を是非認識していただきたく、所々の冊子の記述を引用しながら、敢えてこの第50号記念会報に書き留めることにした。

河合先生は明治八年、愛知県福江町のお生まれ、大正九年三月三十一日に仙台二中第五代校長としてご着任、昭和十二年に退職されるまでの実に十七年の長きにわたりその職責を全うされた。先生の口癖は「二中は俺で、俺は二中だ」であり、仙台二中を日本一の学校にしたいという熱い想いから「最初の三年は夜も眠れなかった。」と述懐されている。先生は二中の新しい伝統・校風の構築に文字通り全身全霊を傾けられ、その結果、学風は革まり、質実剛健の気風が確立され、さらには学業の成績もつとに向上したのである。また先生は、大正十三年、創立二十五周年記念事業として後進子弟のため有益な事業に資するとい

う目的で、現在の一般財団法人

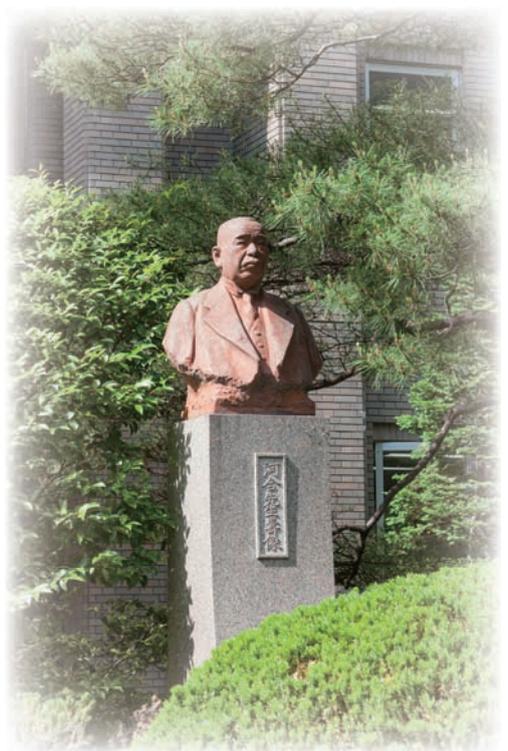
奨学会を創設されている。

さて先生のご功績は「学校位置の良否は生徒教養上、至大の影響を与ふるものたること、言を俟たず」との持論を突らせた前述の校地移轉事業である。先生は、川内の陸軍騎兵第二連隊跡地が大蔵省に譲渡されることを知り、これを千載一遇のチャンスととらえて、まさに「職を賭し一命をも賭して」陸軍や大蔵省の高官と直談判、県当局や在仙軍部とも折衝を重ね、さらには利権屋の抵抗にも

逢いながら昭和三年「風光明媚、伝統を秘める学園としての位置を誇示するがごとき」現在の地への移転を実現させたのである。先生は「今回の事、凡べて転禍移福となれりしは、至誠通天、至純の心の致すところといふべし」と記しておられる。先生は校舎建築に止まらず、運動場の拡張整備や自ら

命名した二中八景で校地内の緑化にも努められ、これら多くの功績を顕彰しようと昭和十一年、河合先生壽像（存命中に造っておく人の像・昭和三十八年再建）が建立され、今でも校門を入りする母校の生徒達を見守り続けておられる。

以上同窓会報第50号刊行にあたって本校の発展に多大の貢献をされた河合絹吉先生を偲びその偉業の一端を紹介したが、結びに、本同窓会報が第50号から75号、さらには100号と継続刊行されることよって、毎号に記載されているそれぞれの時代に於ける同窓会活動や現役生徒達の活躍の記録が、数刊の母校創立何周年記念誌とともに、母校発展の歴史を知り得る貴重な資料として役立つことを願っている。



支部総会等 同期会 開催報告

支部総会報告

青森県支部

新山 龍治（高22回）

我が青森県支部が信じられない

程長い空虚の実態を晒した後、何

と十八年ぶりということになるの

だが、第十一回総会を開催するこ

とが出来たということを昨年の本

会報に報告させていただくことが

出来た。本当に幸せなことであ

った。その切っ掛けを作ってくれた

のは元校長であり、同期の庄司恒

一君であることも昨年このペー

ジで述べた。が、その背景にあ

たのが、実は大井龍司同窓会会長

からの強力な責め、攻撃であった

のだ。平成二十六年七月三十一日

附けの氏からの書状を一部抜粋で

ここに御紹介させていただく。

『同窓会活動は、残念ながら沈

滞化を免れない状況が続いており

ました。会長就任以来、その活性

化に努めてきました。大変失礼な

言い方になることをお許しいただ

きたいのですが、このところ貴青

森県支部の活動状況が聞こえて参

りません。是非とも、その活動を

復活させていただきたくお願い申

す。

『昨年山形県支部が開設され、

秋田県支部も開設の目処がたちま

した。東北六県で母校の同窓会支

部が活動していないのは青森県だ

け、ということになりました。』

誰が考えたって、これは相当に

厳しい批判である。が、どう考え

てみても責められるべきは支部長

不在の青森県支部において事務局

長を務める私以外には居ない。早

速、大井会長宛てで、「ご指摘い

ただきましたように、当支部会活

動は滞っていると言わざるを得ま

せん。復活に向け、名簿作りから

始めてみたいと考えます。」とい

う内容の手紙をしたためたのだっ

た。ただ、正直なところ気持ち

は相当に重かったのを覚えている。

このようないきさつを経ての第

十一回総会開催となったことを改

めて述べさせていただきます。

さて、いよいよ第十二回青森県

支部総会当日を迎えることとな

った。平成二十八年七月二十三日、

土曜日、午後四時。青森駅前「青

森国際ホテル」三階の「若水亭」

に集合。最初に記念写真を、とい

うことで、まずは仙台から来青し

て下さった来賓、大井会長に前列

右側に陣取っていただいた。次に

集合した五人のメンバーを紹介さ

せていただく。前列左が私を事務

局長に任じた仕掛け人、前々事務

局長、高校8回の佐藤秀樹氏。後

列左端が私、新山。その隣が高校

12回の千葉 力氏。氏には以前、

同窓会活動で御協力いただいでい

るので、今回出席していただける

との報を受けた時には跳び上がり

んばかりに嬉しかった。その隣が

高校31回、羽賀義広氏。昨年に続

き和田市から駆け付けて下さ

った。氏には今回の総会で事務局

職を引き受けていただくことが出

来、心から安堵している。昨年の

総会にて支部長を任じられた私と

しては、弱小支部ながら一歩一歩

確実に体制を整えていきたいもの

と考えている。そして後列右端が、

遠く田子町から駆け付けて下さ

った高校28回の中澤一郎氏。日本

一のニンク産地として有名な田子

町ではあるが交通事情的に県都で

ある青森市からは相当遠い。氏の

熱意に改めて感謝。

総会を始めるにあたり、故菊地

喬氏（中学46回）からの御寄附を

原資とする基金での我が支部会の

同窓会旗の制作をお願いしていた

のだが、完成したこの支部会旗が、

最初に大井会長から私に手渡され

た。これを皆で掲げて撮影したの

が前述の写真。続いて大井会長が

持参された三色刷りの「仙台二高

同窓会活動の概要」と、多くのカ

ラー写真を載せた「北陵の四季」

のレジュメ資料をもとに、文武一

道に進進する母校の活躍を紹介し

て下さった。

その後は出席した五人の会員

が、自己紹介・近況報告・今後の

抱負などについてそれぞれに熱く

語った。一人一人が充分に時間を

割くことが出来るのは確かにいい

ことだし、我々のような小さな支

部会の長所・特権でもあるだろうが、

やはり今しばらくは出席者数を増

やすことを第一目標に掲げていく

べきと考える。そうでなくては一

昨年十八年ぶりに支部総会を開催

することが出来た我々ではある

が、あっという間に先行きが懸念

されるということにもなりかねな

い。総会はその後も熱い語らいが

続いたが、最後に校歌斉唱となり、

和気藹々のうちに再会を約しての

解散となった。

実は、今年の一二月二日。仙台市

で開催された「新春ゲタの会（仙

台二高22回卒同期会の名称）」に

参加してきた。受付に顔を出す

と、かつての同級生四人がズラッ

と横に並んで受付事務に余念の無

い様子。が、私の顔を見るなり

「オオ、青森から来てくれたのか」

と。そして「福田和弘君がこの本

を出版したんだ。一冊購入してく

れ」とも。訳も分からず、とにか

く会費と本代を払って会場へ。席

に着いて購入したばかりの本を見

ると「ほろ酔いゲタおやじの独り

言」という表題。ふと帯紙に目を

やってビックリ仰天。何と、大井

龍司会長の顔写真がそこに。ユー

モアとペーソスの中に気骨と正義

感がうかがわれる好著」と題して、

わかりやすい短評を書いておられ

るのだ。あのお忙しい方が……と

も思ったが「仕事は時間の無い多

忙なる人間にこそ頼め」とは、よ

く言われる言葉である。大井会長

が周囲の皆から信頼され、好かれ、

頼りにされていることがよく理解

出来た瞬間であった。

そのうち仲間達が次から次へと

続々同窓会会場に集まってくる。

「おい、新山。お前、青森の支部

は……」



長になったんだってな」とか「同窓会報、見たぞ読んだぞ。頑張ってたんなあ」とか何人かに声を掛けられた。嬉しかった。そして、改めて、どうしても支部総会への参加人数をもう少し増やさなければという熱い思いが湧いてきた。大いに勇気づけられた一夜であった。

岩手支部

鈴木 恒男（高5回）

第24回を数える岩手県在住仙台一中（高）、仙台二中（高）、合同同窓会並びに懇親会の歴史



今回、現仙台二高同窓会長大井龍司先生より、本会の発足の経緯についてのご依頼をいただきましたので、簡略にですが記事をまとめさせていただきます。

一）世に杜の都の早慶戦とも言われる仙台一中（一高）、仙台二中（二高）の対抗の歴史はまさに仙台を二分しての関ヶ原であり、この競り合いの中でお互いの立場を尊重し敬意をもって高め合ってきたものであります。

そしてラグビーで言えばノーサイドとなり、月日を経て社会に出て色んな職場、立場になった時に何かの機会に相手校出身と判明した時はすぐに意気投合し、学生時代を懐かしむ環境になれます。

この一、二高（以下中学は省略）合同の同窓会が発足した歴史については小生の前会長長氏家和国氏（中43回）の草稿がありましたので参考にさせていただきます。

二）昭和六十二年一月三十一日に開催された第五回岩手県在住の仙台二高同窓会の懇親会の席で、一、二高会の開催を望む声が出た。当時の石井富士雄初代同窓会長（岩手銀行頭取）から具体的に進めてみてはの声があり昭和六十三年

一月二十三日第六回同窓会総会に諮って全員の賛意を得られた。

三）この話を聞かれた仙台一高側会長の瀬田孝一氏（当時、岩手医大第一外科教授）からは非やろうということになりました。

瀬田先生方はこのような会は仙台一中、二中にしか出来ないのだと強調されていたと氏家は記されています。誠にお互い他の相手はおりません。

具体的に動かれたメンバーは仙台一高側後藤光雄氏、大泉貞治氏、遠藤直樹氏、王城治氏他、仙台二高側は氏家和国氏、佐藤瑛一氏、今野三郎氏、曾根久氏、村杜英男氏の諸氏が盛岡市百楽天（ホテル）で初回の会合を持ち大筋で合意に至りました。

四）発足。昭和六十三年十二月二十八日に第一回会合（一高側十八名、二高側十八名）が百楽天で開催された。（司会一高側王城治氏、二高側氏家和国氏）初回会合にも拘らず和気藹々で正に同一校の同窓会の様相を呈していたとのこと。

五）第二回合同同窓会（平成元

年十一月二十五日）の席上、一高側瀬田会長の発議で母校の校長先生、同窓会長をお招きすることとなった。この会から仙台二高側は着任後間もない牛田敏校長先生と石井敏夫同窓会副会長にご来駕いただいた。一高側は開校百周年の行事で欠席であった。

六）以降第八回平成七年まで続けて開催されましたが、それ以降数年中断しております。理由ははっきりしてませんが二高同窓会はその間持続しておりました。

七）再開。平成十二年七月に一高側、遠藤直樹氏から再開をとの語があり二高側氏家和国氏、鈴木恒男幹事と相談。第九回の会がエスポワールで開催された。

この会には前仙台二高同窓会会長、西澤潤一氏が岩手県立大学長として在籍されており、ご出席いただく。一高側吉田和郎氏、二高側千田共之教頭、石井敏夫氏がご出席いただいている。

八）以降毎年開催されておりますが、第十三回、平成十八年九月九日開催ですが二高側は男女共学問題で荒れ、この日は本部で急遽役員会があり校



長先生、同窓生の先生は来盛出来なくなつた年もあります。

そしてこの会には、石井敏夫同窓会副会長が毎回のように出席いただいております。感謝に耐えないと故氏家前会長も特記されています。

九）特筆したいのはこの仙台一、二高合同同窓会はその後盛會裡に懇親の場を持ち続けておりますが、本部から毎回他の行事に優先して両校の校

山形北陵会

仙道富士郎 (高9回)

長先生、同窓会長他がご出席なされ、我々同窓会一同にとっては非常に嬉しく喜ばしいことであり誇りでありま

平成二十八年七月二十四日ホテルメトロポリタン山形に同窓生十二名が集まり、第三回山形北陵会総会・懇親会を開催いたしました。同窓会本部からは、鈴木邦夫副会長様、関裕介理事様、平成二十八年四月に仙台二高校長に就任された長島勝彦先生をご来賓としてお迎えいたしました。

この度は、大変立派な山形北陵会旗を同窓会本部で作っていただき、阿子島功山形北陵会副会長が、会旗贈呈式に出席して拝領してまいりました。山形北陵会総会においては、会旗を前に抱いて記念写真を撮り、思いで深い機会となりました。

総会では、前任顧問の庄司信哉氏の辞任申し出に伴う顧問廃止を決めたほかは、昨年と同様の議事審議で終了いたしました。

懇親会は、本部からのご来賓による母校の活躍の様子を拝聴し、各人の近況報告で楽しく過ぎていきま

山形県勢として六十六年ぶりに出場し、名門・パナソニックをやぶった話題などで話が盛り上がりまし

た。また、懇親会の中で、ご出席いただいた鈴木同窓会副会長様のご示唆もいただき、来年度は山形の大学に進学した仙台二高卒業生を迎える会を開催して、同窓会のすそ野を広げていったらどうかという意見が出され、企画を練ることになりました。

短い時間でしたが、母校の活躍に胸を躍らせ、旧交を温めあう機会となりました。最後に全員で校歌を斉唱し、家路に向かいました。

さらには十一月二十六日に郡山市、ホテルバーデンで例年の通り、ゆっくり温泉につかり、一泊での懇親会が行われました。深夜に及ぶカラオケなどでは旧交を暖め合いました。

福島県は東日本大震災時の原発事故から六年経った四月から、原発に近い浪江町、富岡町、飯館村の避難を解除されました。がしかしこれが果して喜ばしいことなのか、私には疑問に思わざるを得ません。六年の歳月を経たいま双葉郡内の古里は元のかたち、環境の目に見えるもののみならず、避難によって人間の住む社会環境をも全く変えてしまっているからです。原発事故による避難者が、いわば加害者ともいえる原発を造った政府による時間刻みの年月スケジュールの長さに比例して理不尽

た。また、懇親会の中で、ご出席いただいた鈴木同窓会副会長様のご示唆もいただき、来年度は山形の大学に進学した仙台二高卒業生を迎える会を開催して、同窓会のすそ野を広げていったらどうかという意見が出され、企画を練ることになりました。

短い時間でしたが、母校の活躍に胸を躍らせ、旧交を温めあう機会となりました。最後に全員で校歌を斉唱し、家路に向かいました。

さらには十一月二十六日に郡山市、ホテルバーデンで例年の通り、ゆっくり温泉につかり、一泊での懇親会が行われました。深夜に及ぶカラオケなどでは旧交を暖め合いました。



福島北陵会

阿部 力哉 (高3回)

平成二十八年度の福島北陵会総会は前年と同じ福島市内の峰亀に

て行われました。本年は仙台から長島勝彦校長と山田修一郎氏と山口信也氏の二理事の出席をいただきました。

長島校長はこの春に赴任されたばかりで、仙台二高生の一層の活動を高めようとの強い抱負を語られました。理事の方からは今月あった仙台での総会時の活動報告をされました。

当日の参加者は十二名で、一層の高齢化が進んでいます。しかし卒業年次の違いはないざっくばらんな楽しい話し合いができました。

さらには十一月二十六日に郡山市、ホテルバーデンで例年の通り、ゆっくり温泉につかり、一泊での懇親会が行われました。深夜に及ぶカラオケなどでは旧交を暖め合いました。

福島県は東日本大震災時の原発事故から六年経った四月から、原発に近い浪江町、富岡町、飯館村の避難を解除されました。がしかしこれが果して喜ばしいことなのか、私には疑問に思わざるを得ません。六年の歳月を経たいま双葉郡内の古里は元のかたち、環境の目に見えるもののみならず、避難によって人間の住む社会環境をも全く変えてしまっているからです。原発事故による避難者が、いわば加害者ともいえる原発を造った政府による時間刻みの年月スケジュールの長さに比例して理不尽



東海北陵会の最近の活動

佐山 泰弘 (高10回)

さが増して、帰郷を阻んでいると考えられます。この綻びこそ、今後解決すべき大きな問題の一つと思っています。

第二十一回総会・懇親会

平成二十八年十一月十二日に、名古屋市内で第二十一回東海北陵会の総会・懇親会が開催された。

大井同窓会会長をはじめ、長島校長先生、菅谷同窓会会計理事、村上事務局長の四名をお迎えし、高5回から高52回の皆さん、計二十二名が参加して、総会・懇親会が開催された。

総会の議題は、決算報告、役員



総会・懇親会会場で

選任、会勢報告などがあり、いずれも、原案通り、承認された。中でも、長年東海北陵会の会長として指導されてきた千葉善根さん（高9回）が顧問に就任され、新たに佐山が会長に就任した事が、大きな役員変更であった。

千葉前会長の挨拶に引き続き、大井会長から「仙台二高同窓会の概要」をもとに活動の紹介がなされた。特に、若手の活躍で、従来以上に活性化されている事や、学校と同窓会の距離を短くする活動にも力を注いでいる等の紹介がなされた。

更に、長島校長先生から東海北陵会に初めて出席される事の挨拶と、「北陵の四季」、「平成二十八年度仙台二高概要」の資料をもとにした、校内活動の詳細な紹介があり、文武一道を実践している事

が理解できた。

その後、村上事務局長、菅合理事からも、学校と同窓会の活動の紹介があり、会員の理解を更に深める事ができた。

総会後、出席者の最高齢である多田さん（高5回）の音頭で乾杯し、懇親会に移行した。

各自テーブルに次々に出される料理と飲み放題のアルコールを堪能しながら、司会者の菊地さん（高15回）のハーモニカ演奏の飛び入りがあったりして、会員同士の和やかな歓談が進められた。

歓談の途中、話題提供として、北住さん（高14回）による「日本とドイツのアイデンティティ―難民と国籍―」と題した、資料とプロジェクターでの講演があった。

難民問題を中心に、両国の国民性の違いや、今後の課題が分かりやすく紹介された。

また、久保さん（高8回）から、「廃棄食品の不正転売問題と有効活用の提案」と題する資料が配付され、現在の賞味期限や消費期限で廃棄するのは問題があり、もっと有効に活用すべきとの観点から、国へ働き掛ける運動を展開中との報告がなされた。

懇親会の最後には、元応援団で、参加者最年少の栗原さん（高52回）の指揮のもと、全員で「雨か嵐か」、「勝利の歌」、「凱歌」と「校歌」を歌い、有意義な総会・懇親会を終了した。



新幹線0系の前で

リニア・鉄道館見学

平成二十九年三月二十九日に庶務幹事の岩田さん（高19回）の企画で、名古屋市港区にある「リニア・鉄道館」の見学会が行われ、有志十名が参加した。

大勢の子供さん連れの見学者に囲まれ、在来線から超伝導リニアまで、三十九両の実物車両を、ガイドの丁寧な解説にも助けられながら、ゆっくりと見学する事ができた。中でも蒸気機関車の前では、子供心に返って、熱心な議論が展開されていた。

更には、運転シミュレーターに挑戦する会員もおり、巨大なジオラマでのガイダンスに理解を深める機会も得られ、有意義な時間を過ごす事ができた。

行事終了後、名古屋駅構内の居酒屋で懇親会が行われ、十分なア

ルコールの助けを借りて、色々な話題で盛り上がり、貴重な半日を終了した。以上

**在京同窓会
新入生歓迎会・
若手交流会**

練生川淳志（高30回）

二〇一七年五月二十七日（土）、在京同窓会として二回目となります「新入生歓迎会・若手交流会」が浅草ビューホテル（東京都台東区）において開催されました。

この企画は、学年幹事会での「学生も含めた若手が参加しやすい会」をとの希望で実現したもので、会には、今春首都圏に進学した新一年生が二十一名、二年生から大学院生までの学生が二十名、学年幹事を中心とした古手（失礼）の会員が三十三名参加し、七十四名の盛大な会合となりました。

司会の昆野巨さん（高51回）の開会宣言の後、在京同窓会会長の上條努会長（高24回）／サッポロホールディングス株式会社代表取締役会長（高26回）より新入生に向けて、温かい歓迎の言葉をいただきました。

その後先輩六名から、学生に向けてのスピーチをいただきました。スピーカーは、伊藤豊さん（高26回）、松山洋一さん（高51回）、小林俊介さん（高51回）、渡辺泰輔さん（高52回）、佐野由梨さん（高64回）、田村香織さん（高65回）の皆さんです。いずれの方も、実業界、医療業界、官界等でご活躍の皆さんであり、それぞれの仕事の話しはもちろん、学生時代の過ごし方や目標を持つことの大切さ、また職業選択の意義など学生にとって参考となるお話しをたくさんいただきました。

その後、この日のために仙台からお越しいただきました渡邊幸雄さん（高26回、仙台二高前校長）にご来賓としてのご挨拶と乾杯のご発声をいただきました。渡邊幸雄さんのマイブームは引き続き「ポケモンGO!」とのことで、この日もメッカのお台場あたりを散策されたようです。

乾杯後、懇親会の各テーブルでは、二高時代の部活動、出身中



学、また現在の学業など、先輩後輩入り乱れて、多くの話題で盛り上がっていたようです。

その後、新一年生全員がステージに出て、ひとりひとり自己紹介を行いました。新一年生は親元を離れてちょうど二ヶ月が経過したところですので、少しホームシックになっていてる頃でもあり、「同期に会えてうれしい、参加して良かった」と涙ぐむ姿も見られました。

また、昨年は首都圏在住の学生ばかりでしたが、今年は東北大学や山形大学の学生も参加しましたので、この会の評判が口コミで広がっているようです。

また、余興として千葉麻夏さん(高68回)の企画による「グループ対抗早押しクイズ」を行いました。グループ対抗で賞品を競いあい、珍問難問悪戦苦闘し爆笑しておりました。

会の締めめの段では、応援団 O B O G 三名の旗振りの下、「雨か風か」、「勝利の歌」と高らかに歌い上げました。

総会・懇親会終了後は、二次会と称し浅草界隈で同期の集まりが開催されたようです。

今回二回目の企画でしたが、参加した若手に大変喜んでいただきましたので、在京同窓会としては来年以降も継続開催し、学生とのつながりを築いていきたいと考えています。

現在、三年生の現役生の皆さん、東京でお待ちしております。

クラブ・回期報告等

北陵ドクター倶楽部 「第3回総会」

菊地 徹(高35回)

平成28年 8 月20日(土)

於・江陽ランドホテル

北陵ドクター倶楽部は、平成二十六年七月、満を持して設立された仙台二中・二高出身医師による O B 会である。

午後六時、同倶楽部幹事の筆者(消化器内科、高35回)の司会進行で第三回総会開会。

山崎 匡会長(消化器外科、高12回)のご挨拶に続き、本郷道夫副会長(消化器内科・心療内科、高19回)の議事進行により早速協議に入った。

まず、事務局担当の鶴飼克明幹事(消化器内科、高28回)の一年間の短期出張に伴い、その間筆者が事務局を引き継ぐ旨を説明。続けて会計報告を行った。今井克忠監事(泌尿器科、高15回)が会計監査報告を行いました。そして、かねてより懸案であった総会の日程固定化に関して、会員の日程調整ならびに会場確保の観点から、「当面のところ年一回、毎年八月の第四土曜日。会場は江陽グランドホテル」に固定したい旨説



明。これも異論なく了承された。最後に、同窓会理事の筆者より仙台二高同窓会の近況を報告。徳村弘実副会長(消化器外科、高22回)のご挨拶で総会は恙なく終了した。

引き続き、特別講演会である。今回は、大井龍司顧問(小児外科、高10回)に座長をお努めいただき、東北労災病院副院長の徳村副会長より、「外科医—今昔物語」の演題名でご講演いただいた。日頃聞きなれた古(いにしえ)の名医達の裏話から知られざる素顔までご紹介いただき、あつという間に予定の五十分が過ぎ去った。

会場を移して記念撮影が行われ

た。今回も安田恒人顧問(精神科、中45回)が自ら一眼レフのシャッターを切られた。

そして、いよいよ懇親会である。司会進行は、結城道広幹事(産婦人科、高33回)が担当した。

例年通り、白根昭男顧問(消化器内科、高9回)の指揮で校歌斉唱。

本郷副会長の開会のご挨拶の後、来賓の長島勝彦校長より二高の近況についてお話し頂いた。続いて同窓会長でもある大井顧問より同窓会の近況に関して補足頂いた後、安田顧問の乾杯で一同再会を祝し、懇親を深め合った。

その中で、大井顧問がこの度世界小児外科学会より日本人として二人目の表彰を受けたことが紹介され、記念品が贈呈された。

やがて華やいだ雰囲気の中に懇親会もお開きの時間となった。かつての応援団幹部である野口光徳幹事(消化器内科、高31回)を中心に、嶋原康先生(形成外科、高34回)、菊地達也先生(消化器内科、高37回)による旗振りに合わせて「雨か風か」、「凱歌(1、5番)」を高らかに歌い上げ、散会となった。

現在、案内状は住所の把握できずようこの場をお借りしてご案内

現在、案内状は住所の把握できずようこの場をお借りしてご案内

追伸 当倶楽部発足前より、倶楽部運営にひと方ならぬご尽力を賜りました安田恒人顧問が、去る平成二十八年十二月二十八日、急逝されました。享年八十八歳。世話人唯一の仙台二中出身でした。生前、公私共々、陰に日向にご高配を賜りましたことに衷心より深謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

安田先生、安らかにやすみ下さい。

仙台大高三三三会
「文集」
山崎 俊夫(高10回)

「仙台二高三三三会」は、昭和三十三年に卒業した高10回生の同期会です。喜寿を迎えた昨年十月に三十九回目の懇親会を江陽グランドホテルで開催し会員三十四名が出席した。

第一回の懇親会は卒業二十二年目の昭和五十三年八月で以降毎年開催している。今年秋の開催が四十回の節目を迎える。平成二十二年に登録会員制の組織に変更したが、東京三三三会・名古屋三三三会と連携しながら毎年交流を深めており、今後も「健康第一」を目標に再会を願って活動を続けていきたいと思っ

それぞれの活動内容については



本誌四十八号に詳しく掲載されているので、今回は過去に二回発行した「文集」について紹介します。

第一集は平成六年、第二集は卒業五十周年を記念して古稀を迎えた平成二十年に発行した。

私たちが入学した昭和三十年は母校の創立五十五周年の年で、記念行事や講演会が開催された。県下高校総合体育大会四連覇の偉業を達成し、翌三十一年は五連覇でできなかったものの、全国高校野球大会で甲子園出場ベスト8に進出した。また、NHK全国唱歌ラジオコンクール東北大会で優勝（全

国第三位）するなど、母校の大躍進の渦中にあった。

そのような在校時代の思い出を「文集」として残すことに共感を得て、恩師と多くの会員から原稿が集まった。後に二高の校長を務められた高橋清久先生（当時G組担任）や河合正夫（A組）西川十郎（E組）千葉貞蔵（F組）先生や、教科担任の稲瀬正夫・二本道郎・古市慶一郎先生などの二高勤務時代のエピソードや青春時代の思い出などの原稿が届き花を添えて。大場時也先生からは「部長として出場した甲子園の思い出」と題する原稿をいただいた。

また、文集の表紙を飾るのは昭和五十九年に母校の新校舎落成時に三三会から寄贈した「昇り竜」の幟をモチーフにしたもので、「疾風怒涛」「北陵健児」の文字は小野明夫先生が揮毫し大型の幟にしたものである。対一高戦や各種の大会で応援団のシンボルとして使用されたので多くの方の記憶に残っているものと思われます。

三三会を通じての交友がこれかっとして「文集」の存在があるものと信じている。

仙台五三の会

木皿 謙（高5回）

平成二十八年九月三日（土）仙

台市国分町スマイルホテル三F「シェルブルー」に於いて、会員二十名の出席を得て、二十八年度の総会を開催いたしました。

記念写真撮影の後、校歌斉唱、最近亡くなられた方に対する黙祷、木皿代表の挨拶、続いて皆さんの再会と健康を祝して、宮沢君の発声により乾杯、永年五三の会の評議員としてご尽力いただいた小金沢君より、身体不調のため退任したいとの申し出があり、満場一致で了承いたしました。

後任は東京五三の会事務局担当の菅原正人君、仙台五三の会世話人の高橋清人君の二名で担当することになりました。



続いて、宮澤君の講話があり、本日の開催場所、スマイルホテルの前身の場所の由来、その時代背景などの話があり、皆さん興味深く拝聴いたしました。

近況報告に移りご出席の方々より、八十歳を越えてると思えない程元気な声で発言がありました。

最後に佐藤元康君の発声により、凱歌を斉唱し本日のの言葉としました。

尚、皆様の強い要望により、今後も年一回の総会を開催することを確約いたしました。

仙台五三の会登録会員五十五名
東京五三の会登録会員五十八名

同期会開催報告 高校15回38会納涼会

松川 好孝（高15回）

平成28年7月30日（土）

於 本町カニ政宗

雨か嵐かの応援歌に励まされながら、自分を奮い立たせ乗り越えて来た五十有余年、古来稀なりの七十才を過ぎお互いの元気を確認し合う意味でもある38会（昭和三十八年度卒）のビアパーティーを開催いたしました。仙台近郊の約九十人に連絡を取り二十八名の参加となりました。東京方面からも安藤浩君、麻生君、大野君、斉藤敏一君も参加してくれました。藤会に先立ち物故者への黙祷。近藤会長の挨拶で開宴。五十余年前の



顔に戻って呑む酒は本当に美味しくそして楽しい!!

あっと云う間の三時間、皆それぞれから力をチャージしてもらい、元気で再会を約束し、自分に対しても仲間に対してもフレンドリー二高のエールで散会。

おまけの人生、楽しく生きよう！と思えるひと時でした。

東京三六会同期会

高橋 成彬（高13回）

『東京三六会』は、仙台二高・昭和三十六年卒業の首都圏在住者の同期会であり仙台に本拠をおく『三六会』の東京支部的存在としてかれこれ三十数年という長い歴史を刻んできました。ここ数



年、同期会は新年会を兼ね二月初旬に行っており、今年も二月四日(土)正午より新宿・住友ビルの最上階『東京住友クラブ』において二十一名の同期生が元気な顔を揃え賑やかに開催しました。

毎年のことですが、今回も仙台から大原勲君、菊池康夫君、斎藤勲君の常連が特別参加で遠路はるばる駆けつけてくれて、会の盛り上げに一役かかってもらっていることにこの誌面を借りて心から感謝する次第です。

会は乾杯に続き、美味しい料理と北陸名酒『三笑楽』や赤・白ワインが揃えば話が弾まぬわけはななく有志の近況報告に聞き入り、健康談義や趣味の話、同期の消息な

ど話題は尽きない歓談のひとつとなり大いに旧交を温めました。

あっという間に三時間が過ぎ閉会時刻が迫ったところで締めくくりにして全員で応援歌『雨か嵐か』『凱歌』『校歌』を高らかに斉唱、次回の再会を約しながら散会となりました。今回、残念ながら都合や体調不良で出席できなかった方は次回同期会(来年二月三日・土曜日を予定)にはぜひ元気な顔を見せていただくことを願っております。

ところで、同窓会報四十七号でも『鎌倉散策』を紹介しましたが『東京三六会』ではここ数年、年一回の同期会とは別に近場の散策を企画(鎌倉三回、小田原、横須賀、玉川上水など)、メールで希望者を募り少人数での交流イベントを実施しています。散策後の締めは居酒屋で軽く一献、楽しい懇親の場でもあります。

(今年はビールのうまい季節にキリンビール生麦工場の見学を検討中) こうしたイベントは、今年否応なく後期高齢者入りする大半の同期生にとって運動不足解消や気持ちの若返りなど健康づくりに効用ありと考えます。時間を持て余し気味の同期諸兄には定期的な同期会への参加に加え、イベントへの積極的な参加を是非お薦めしたいと思います。

スキー部 活動報告

齋藤 雅人(高34回)

毎年五月に総会、一月には新年会を仙台市内で開催しております。現役生とのつながりとして以前は選手へのコーチングなどを実施していましたが、現在は遠征費の補助などで支援しています。

平成二十五年には創部五十周年記念式を渡辺校長先生はじめ多くの来賓にご参加いただき盛大に開催することができました。また、ここ数年、十二月に東京支部の会合を行い、仙台に戻れない会員の親睦に大いに役立っています。

スキー部も他の部活同様、若い年代の参加が少ないのが最大の悩みです。



創部50周年集合写真(平成25年)

「若い年代のスキー部OB・OGのみならず、ぜひ一度顔を出しましょう！」



平成29年1月2日新年会にて

仙台二高合唱団 OB会開催報告

清水 廣行(高12回)

仙台二高の合唱団は昭和三十四年十一月に当時の仙台市公会堂(現市民会館)で演奏会を開催しました。当時のメンバーが中心になってこれまで先輩・後輩を交えての交流会を平成六年以来数年おきに開いてきました。昨年九月五日その第五回の集いが東北大学北門会館レストラン萩で開かれ、4回生から20回生までの十六名が集まり久々の交流を温めました。メンバーの中には合唱団創設時の方やNHKの合唱コンクールで全国

宮園二高会

齋 基之(高25回)

三位になった時の団員もあり、遠くは鳥取を始め東京・千葉・一関から駆け付けたメンバー等、皆でこれまでの集いを振り返り各自の現況を述べ、又の再会を約束しました。次回会合の連絡を希望する方は星雅行幹事(高14回)(070-5257-1978)までお知らせください。

平成二十九年五月二十日に仙台市内の宮城県歯科医師会館で宮園二高会の総会・懇親会が行われた。当日は大井龍司本部同窓会会長をお招きし同窓会の現況について講演していただいた。宮園二高会は、宮城県に在住する仙台二高二高の卒業生で構成され、終身会員・会員の人数は三月三十一日現在で一〇六名で、準会員は三十一名を数え、活動内容は懇親と学術講演を主に多岐にわたっている。平成二十八年秋期研修会では、宮園二高会歴代会長である杉本是孝氏(中46回)、向山秀城氏(高9回)、太郎丸浩氏(高17回)の座談会形式で、宮園二高会の成立のきっかけやこれまでの歴史を語って頂きました。今回、同窓会報にこの座談会で語られた内容を簡単にまとめ報告させていただきます。

1、宮齒二高会設立のきっかけ
昭和三十年頃、戦後落ち着いてきたこともあり、宮城県歯科医師会の中に出身大学による同窓会が出来はじめた頃に、遠藤辰三氏(中11回)、今沢四郎氏(中23回)、高橋五郎氏(中31回)が中心になって、宮城県歯科医師会会員で仙台第二中学校(旧制)の卒業生有志の二十数名で結成されました。その後、丸森源七郎氏(中40回)、丹野気哉氏(中40回)が継承され、親睦会や弔慰が行われておりました。昭和四十九年に星尚世話人が急逝されると、資料不明のため七年間ほど中断されました。その間、宮城県歯科医師会会員も六〇〇名を超え、出身大学による派閥や人脈で物事が仕切られることが多かった時代です。そんな中、出身大学の学閥を超えて、旧仙台二中、二高という以前同じ学び舎で学んだ仲間が集まり力を合わせていこうという機運が高まってきました。そこで昭和五十六年五月九日に「母校の発展に寄与し、併せて会員の相互親睦を図り、互いに切磋琢磨しながらひいては歯科界発展に寄与する」事を目的に杉本是孝氏を会長に再スタートしました。

2、宮齒二高会の活動

①杉本是孝会長時代(一九八一～二〇〇六年)
昭和五十九年くらいまでは、特

に研修会等の行事はなく、集まって色々話をするだけでしたが、ただ集まっても仕方が無いとのことで、テーマを決めて講演会を企画してみようということになり、研修会が始まりました。杉本会長が医師会とつながりがあるとのことで、産婦人科、泌尿器科、眼科などの先生方をお招きして医学的な話について裏話を交えて聴講したり、時には西武の紳士服のフロアマネージャーを講師に「紳士のおしゃれ」についてお話しして頂きました。当初講師は、二高の卒業生と限定されていませんでしたが、その後二高の色々な分野で活躍する卒業生をお呼びして講演を受けることが定着し、現在研修会は、年に二回春と秋に行われています。

②向山秀城会長時代(二〇〇六～二〇一三年)

向山会長時代には、多くの制度改革をし、内規をきちんと決めたり、会則変更を行いました。行事についても一高二高デンタルコン

ペを始め、うまいもの会などの新しいものをスタートさせました。うまいものは、菊地義一氏(高19回)などグルメの会員がいらっしやっただけで、色々なお店に皆で美味しいものを食べに行ったり、食べる楽しみを追求しようということとて千葉宏氏(高27回)が指揮をとっておられます。始めの頃は年二回行っていましたがお店を探すのが結構大変なのと会員の都合が合わないことが多く、現在は年一回にしました。また、この時代には東日本大震災を経験し、会員の安否確認や会費の免除などを行いました。また、この頃になると勤務医の二高出身の同窓生とも連絡を取るようになり、震災後初めての研修会や懇親会は勤務医の同窓生も交えて空調が壊れたままの国際ホテルで行った思い出もありません。

③太郎丸浩会長時代(二〇一三年～現在に至る)

スタートして三年目ですが、これまで勤務医の同窓生についての規定がありませんでした。そこで、準会員という規定を制定しました。現在準会員は、約三十名で、主に東北大学に勤務されてお

われまます。
今後は大井同窓会会長を通して北陵ドクター倶楽部との交流も期待しております。

「かんどり会」の半世紀
— 母校と恩師への
思いを込めて —
渡邊 剛(高3回)

我々仙台二高第3期生は昭和二十年春旧制二中に入学、太平洋戦争後の学制改革の影響で二十六年春、新制二高を卒業しています。その途中、二十三年春には、疎開先等の併設中学からの入学者を加えて高校一年生になりましたが、殆どの同期生は六年間学び舎を共にしました。入学当初の中学1年では長沼先生(通称「ケタ先生」)による軍事教練が課せられ、七月十日に仙台空襲、八月の終戦とともに民主主義教育とやらを強いられましたが、生徒以上に当時の先生方は苦勞されたと思います。我々生徒にとっても「鬼畜米英から自由の女神」への切り替えは戸惑うばかりでした。

しかし、振り返ってみると六年間にわたる教師と生徒の繋がりは、ある種の連帯感、友達意識を育んだと思います。そのお陰か、大学進学・卒業の後、教職についた仲間には二高時代の恩師を囲んで、教師としての心構えを伺える機会を設けようとの気運が生ま

れ、これが「かんどり会」の設立に繋がりました。設立の時期は定かではありませんが、昭和三十年台後半のことと伺っています。会の名称については、松崎先生曰く、「教師稼業は船頭みたいなもので、教え子達を各々の行路に渡してやるのが仕事であり、私は雄々しく歩く教え子達の後ろ姿を眺めて満足を感じるのである」とのことです。「楫取会(かんどり会)」と名付けていただきました。会の運営は名簿順に担当幹事を決め、年末の忘年会の合間、卒業年次が昭和二十六年ということ十二月二十六日と決められていたようです。昭和四十六年までは、卒業時のクラス担任の上田欣弥、小針壽一、松崎喜一郎、高橋一郎、渡辺義夫、金子五郎の六名の先生方が、かんどり会に出席されて下さったとのこと。

筆者は大学卒業後、東京オリピックの翌年までアメリカに居りましたが、当時を思い起こすと、昭和三十八年のケネディ大統領の暗殺、ベトナム戦争の泥沼化から反戦運動が起り、更に人種差別撤廃を求める公民権運動が盛んになって、社会は騒然としていたと思います。一方、このような風潮は我が国にも飛び火して、各地で反体制を唱える全学連運動が活性化していました。学生による授業のボイコットは勿論のこと、大学封鎖、占拠が起り、大学内は騒

然として居りました。我々若手教員は学生と対峙し、大学の自治を叫びながらも、結局は警察導入によって漸く大学騒動は沈静化していきましたが、先鋭化した学生達の一部は浅間山荘事件、赤軍派内の総括・粛清、日航ハイジャック事件などと続いていきました。

そのような教育界の現実を踏まえて、子供達の進学を前途とする高校の先生方は大学の現状を知ろうと、「かんどり会」に大学にいる同級生を含めて行こうというこ

とになり、年ごとに大学関係者が入会するようになり現在に至っています。その頃から大学進学、高連携が話題に上るようになり、かんどり会は昔を語るだけでなく、当面する教育問題などの意見を交換できる場になったと思います。

恩師の先生方は昭和三十九年までには母校を離れられています。が、ご他界されるまではかんどり会に出席して下さいました。昭和四十九年に小針先生がお亡くなりになり、我々は恩師を失う寂しさを実感しました。その後は卒業時の恩師も高齢になり、二高の現状を知るためにも、教科担当の先生方をお招きしていました。平成十四年上田先生が亡くなられましたが、その年のかんどり会には金子先生が高齢を押し参加して下さいました。一方、我々同窓生も

歳相応に教育界で活躍、還暦を迎える前は阿部恒男君、太宰芳郎君が二高に居られましたので、母校の情報にはアクセスできましたが、二君が退職されてからは、二高同窓会の副会長だった高橋正道君にお願いして会のメンバーになってもらいました。また、会員が古希を過ぎてからは、十二月末は寒すぎるということで、一か月前倒しにして十一月末に集りを持つことになりました。

数年前、同窓会会長が大井龍司氏になってから広報誌が充実されましたので、進学状況、部活の近況を知ることが容易になりました。しかし、やはり「ナマの声」も欲しいということで、二十八年度のかんどり会には新たに同窓会理事になった阿部孝一君に出席していただきました。彼は旧友永野行雄君（株セント社長・故人）のパートナーとして勤められ、現在は「Brain Works」（出版関係の在仙企業）で活躍されています。

教師稼業についていた我々は、毎年、新しい生徒・学生を迎えていました。同窓会では校歌を歌い、凱歌を歌いながら、母校の桜並木を思い出しています。まさに、「年々歳々花相似 歳々年々人不同」の心境を春には味わっています。教育は将来の道しるべを示すことでしようが、やはり今、目の前にいる若者に「真摯に無償の愛情を注ぐこと」が教師の使命だ

と思います。偶々、今年の北陵会の例会で、二高の生徒さんが自分たちの夢と希望、高校生活をどう過ごしたかを語ってくれました。年齢的には孫の世代ですが、二高の後輩がこんなに確りした考えを持っていいのかと感動しました。

我々も傘寿を越した老人になり、何れ恩師達と再会できるでしょう。されど母校に学ぶ後輩諸君には一層の勤勉、努力に務め、母校の名を上げて頂きたいと願っています。

平成二十八年の「かんどり会」は会員十六名の参加を得て、十一月十九日に市内「寿松庵」で行われ、校歌斉唱、庶務会計報告の後、阿部孝一君による母校の現状報告、続いて各自の近況を伺いながら歓談、等原武文君の音頭で凱歌斉唱、「今年は何の年男、米寿に向かって元気に頑張ろう」と誓って散会しました。

寄稿

お詫び

49号掲載の寄稿文「手作り小冊子『華の40年卒』」において誤りがございました。正しい記事を再掲載させていただき、ここに謹んでお詫び申し上げます。

手作り小冊子

『華の40年卒』

今野 秀彦（高16回）

「：青春時代が夢なんて あとからほのぼの想うもの：」トップギャランが歌った「青春時代」の一節である。夢中で走り過ぎた二高時代を、古希を迎えた今振り返ってみると、わずか三年間の短い期間にすぎないがいつまでも抱きとめておきたい大切な輝くひと時であったように思われる。思い出すすべては仲間とともに明け暮れたバスケットボールで占められたのであるが、幸運にも県代表としてインターハイに、そして東北代表として国体にも出場できた。そこには豊かな思い出と確かな仲間を得た思いがある。しかし卒業が東京オリンピックの年であったから、もう半世紀も前のこと、忘れかけたことや不確かなことも多くなってきた。そんな中で有難いことに、一昨年の六月に仙台二高バスケットボール部『華の40年卒』が刊行された。一学年後輩の諸氏が平瀬清君を中心に、足掛け三年に及ぶ粘り強い努力の結果仕上げたもので、A4判の一〇〇頁からなるバスケットボール部三年間の思い出を綴った手作りの小冊子である。互いの手元に残っていたとされる古くて懐かしい多くの資料をもとに編集され、それに『造型』、『二高百年史』、『バス

ケットボール部北陵会50周年記念誌（平成十三年十二月発行）、『仙台二高新聞』、『河北新報』などの当時の出版物も参考資料として引用されているだけにしっかりとした内容となっている。輪番制で書いた『部誌』の色あせた写しがあり、そこには毎日の練習内容や各部員の拙い意見なども見ることができ、多数の写真とともに思い出を刺激する。また、三年間の全ての公式戦が記録されており、前半と後半の得点に戦評としての新聞記事が併記されているのも嬉しい。「思い出の記」の章では多くの小話が綴られているが、そこには当時の社会背景もさりげなく配置されており、小話が生き生きとよみがえってくる。

本誌を読んで改めて再確認できた忘れがたい試合がある。それは、昭和三十八年六月三日（月）総体最終日、「涙の説得」の一戦である。全ての予定が終わり、残っているのは一高相手の我々の決勝戦のみになっていた。多くの仲間が会場いっぱい応援に集まってくれた。しかし試合開始直前になり当時の小坪洋校長は授業を放棄しているとして全員帰校を命じた。校長命令に納得できずに留まる多数の仲間を前に、張りつめた雰囲気の中、応援団長、生徒会長が涙ながらに帰校を促し、後藤主将も「：必ず勝つから：」と説得した。帰校した仲間数百名はしかし、その

まま図書館に校内謹慎処分となつてしまった。新聞にも報道され、巷でも話題になったとある。回りを全て一高応援団に囲まれての試合であったが、点差を大きく開いて勝利した。緊張したあの時の光景、感覚が感激を伴って再び浮かび上がってくる。

思い出をたどると、仲間と一緒に夢中になっていたあの時期は、確かにあとからほのぼのと思うものではあるが、しかしそればかりではなく、そこにはその後の歩みにとってとても大切なものが含まれていたことを改めて思い起こすのである。それを確認させてくれるのがこの手作りの小冊子である。

兄弟船

若生幸一郎 (中43回)

大好きな歌、

波の谷間に 命の花が

ふたつ並んで 咲いている

兄弟船は 親父のかたみ

型は古いが しけにはつよい

おれと兄貴のヨ 夢の揺り籠さ

仙台二中という、あこがれの兄弟船に乗り組むことが出来たのは今から八十年前、その時のことを思い出すと、心からよろこんでいた両親の笑顔が鮮明に浮んできます。

既に太平洋戦争に突入して戦時態勢下の学校の授業は学業半分、

兵役訓練半分の状態でしたが、卒業の頃は勤労奉仕の動員も加わり中々学業勉強が出来ない状況になってきました。不思議なものでその反動で、学業勉強をもっともっとうしてやりたい気持ちが強くなっていったことを思い出します。

在学中の一番の思い出は、宮城県内各校対抗の「蔵王突破行軍大会」です。重武装して宮城県庁から蔵王を経由して山形県庁まで、三日間で徒歩で到着する大会の一員として参加した事です。

十数校参加して落伍者無く完歩したのは、我が校と小牛田農林の二校のみ、一泊目の大原の学校々庭に夜営時に、雨模様で天幕は雨を含んでズッシリ重く背中に喰い込んでの蔵王登山、そして賽の河原の二日目の夜営、そして三日目の行事、今思っても考えられない事です。実際にやりとげられたのです。

父の様になんでも相談できた学級主任の堀見先生、歯切れ良いスカッとした国語の安達先生、絵を書くことが好きな私をやさしく指導して頂いた野村先生、結局建築の道に進むキッカケになりました。

勤務の関係で昭和三十三年に札幌勤務となり、札幌市庁舎建築など担当して平成元年に定年退職、以降各専門学校の非常勤講師として若者達に建築の妙味を話して

二十五年間一緒になって共に楽しむ月日に恵まれたことは何よりの喜びです。

仙台二中という兄弟船に乗り組んでここまで来ましたが、戦争という魔物が産み出す筆舌に尽くし難い惨禍について、身をもって体験した私たち、同級だった中瀬清久君が神風特攻隊で敵に体当たりして散華したあの頃の雰囲気、今ほんの微かではあるが感じます。北朝鮮や中国の動向のせいでしょうか心配です。

昨年末雪道で不覚にも滑ってころび腰を痛め救急車のお世話になりました。老船乗り？はやはり陸は苦手、少々気落ちしていたところに、仲間の鎌田勝夫氏から原稿の依頼があり、よよしと気持ち新にして書かせて頂きました。

「たったひとりの おふくろさんに 楽な暮らしを させたくて 兄弟船は 真冬の海へ 雪のすだれを くぐって進む 熱いこの血はヨ 親父ゆずりだぜ」



渾名 (ニックネーム) 考

小出 精 (高7回)

ダバ、スガ目、エンタツ、毛タマゴ、ごまだんご(又の名をドンコ)、マツツアキ、コンニャク、ゴリ、トンボ、チキン、デンスケ、ダルんつあん、タコイチ、トンマ、ゲタ、ウエキン等々、懐かしい先生方の顔が鮮やかに目に浮かぶ。私には旧二中から入った兄が二人いて、それらのニックネームを二高に入る前から兄やその友達の話を通じて習わぬ経を読む如くに身近かに感じていた。

さらにマンモス(生物担当)とギャバジン(物理担当)の両先生にも習うことを楽しみにしていたのだが、残念なことにお二人とも私達が習う前に、スレ違いにそれぞれ仙台や姫路の大学の先生となつて異動されてしまつて、とても残念に思ったものだった。(ギャバジンとは当時の斬新な洋服生地の名前で、その生地のパレザーを愛用していたことからそのままニックネームとして定着したものと見える。)

昭和二十七年春は教員の大異動

私達が入学した昭和二十七年春は多数の先生の異動があり、私達は一年次だけでも六人位の若い新しい先生に習うことになったため、兄達から得た先生方のニックネームを活用する場はあまりない

ままの二高生活のスタートとなつた。

昭和二十七年転入の先生で渾名がついた最初の人は、学年の「一般社会」を担当するI先生だったと思う。I先生は至って真摯な学究肌の方だったにも拘らず数ヶ月後にはチャップリンという名がついて、一寸解せなかったが、その由来は廊下を歩く後ろ姿を見て、授業を教わってはいない上級生達に「似ている」と感じて名付けたらしい。I先生は後年、宮教大の学長になられた。やはり新入りの若手の先生の一人である生物のI先生には、(我々の卒業後と思われるが)ガマの名が冠せられたようである。I先生の授業ではガマガエルや桜の花の解剖とか、先生と皆で澱橋の下の辺りに行って採取した(生れて初めて見る)プラナリアを生物室に持ち帰り、その強い再生力を観察したり、又、カエルの脊髄反射の様子を教卓のまわりに集って見せてもらったり、或いは細胞分裂の過程をスライド映写しながら説明して下さったりと、生徒にとってどれも貴重な経験だった。私には、ガマの名はI先生の熱心な実践授業に対する生徒達からの栄誉の賞のようにも思える。I先生も後に市内の私立大の学長になられた。

私自身も「先生」になった

私事だが私は札幌の夜間高校での教育実習が貴重な経験となつ

て、教師の道を選ぶことになり、気仙沼高を皮切りに六つの学校に勤めたが、やはりどの学校でも古参の先生には、エントツ、ナマズ、マホウ使い、ペンギン、掃除大臣、ノッペちゃん等々のニヤリとさせられる名が冠せられていた。ところが中々若年の先生で付いていた人は？となると殆んど思い当たらない。

高校で渾名が何故減ったのか？

その理由として今の高校の先生達には個性が乏しくなったからか？などの評が伴うこともあるようだが、私は決してそうではなく、戦後の学制改革（六・四 or 五制）から「六・三制（等）」と、もう一つは高校進学者の増加とが大きく関わっているように思える。即ち昔の全国各校にあったであろう「名ニックネーム」は小学校から旧制の中学や高等女学校に入って間もない、まだ童心や茶目気が十分にある渾名の付け方も巧みな十二、十三才程の人々によるものが多いのではなからうか？（振りかえれば私も昭和二十四年に新制の市立仙台二中に入ったときに、多くの先生が、男女を問わず、ロング、ガンマー、ブント、ターザン、ですねバンツァン等々と、ふさわしい渾名を冠せられていた。）又、漱石の「坊ちゃん」の中で、坊ちゃん先生が町のそば屋で天ぷらそばを食べた翌日坊ちゃんが授業に行くと、もう黒板の隅に天ぷらと落

書きされていて、坊ちゃんがいささかなりとも不快感を抱くという場面も思い起こされる。ベビーブームも思わぬ影響？

さらに旧制の学校は一学年が大抵四〜五クラス程度だっただろうから、どの科目も学年皆がそれぞれ同一の先生に習うケースが普通だったであろう。ところがその後、ベビーブーム世代が高校生になると一学年が八とか九クラスなどとなる時代もあり、各科とも一人の先生だけで学年全てのクラスの授業を担当することは、一部の科目（少単位の芸術科とか、理科Iと呼ばれた時期の生物や地学の分野等）を除いては殆んどなくなってしまう、このことも渾名という「波紋」の拡がりに対してはブレーキになったに違いない。いわば先生と生徒の授業を通じてのつながりは、多人数の大学の教養過程ではよく見られるような数クラスずつ毎に分断化されたと云えようか。

六・三制の負の影響？

そしてもう一つは修学年数の大きな変化である。昔の中学や高等女学校は五〜四年と長い（注）旧制二中から新制二高への移行期に在学した人々、つまり高校第一回〜第4回卒業までの人は六年間も通った。ので、先生と生徒のつながりも又、現在より深まることのできたに違いない。

私が昭和五十二年に一高に転動したとき、一高で有名だった渾名の持ち主はというと、旧一中出身で数学を担当されていた人気のチンコロ（珍古老の当字も用いられていた。）先生だけで、その他には殆んど思い出せない。わずかに英語担当の若手で真面目なS先生に、やがてカトチャという名が冠せられたのを知って意外な感じだった。その理由はS先生がときどき見せる笑顔が、当時民放TVで人気だった番組に出て来るタレントのカトチャに似ていると見なされたため、但しこの名も全校的に広まったかどうかは定かではなかった。S氏はその後、平成九年頃二高に移ったが、やはりカトチャの名も引き継がれたのだから。

一高では「替え歌」があった。私が勤めていたときの一高では各教師の特徴等を歌詞の中に盛り込んだ「替え歌」（たしか「一高教師団」と称していた。）があって、クラブの合宿とか、一高祭のあとに愛唱されており、しかもその歌詞を応援団員達が手造りで冊子にして、「二高歌集」の名で一高祭などの折に抜け目なく販売しているではないか。私も買って中を見ると、生徒達は先生達の色々な特徴等をよくぞ見ているものだと思心させられるし、私に聞しても、日頃私が生徒達に向かって発して来た言葉や毒舌とか、私の日頃の行状、さらには人生歴上の

大事に至るまで歌詞として盛り込まれているのには恐れ入った。まるで「まとめて歌おうニックネーム」と云った感じだ。

二高にもその種の替え歌があるのだろうか？「一高教師団」のメロディーはテンポが早くて元気づく覚えやすい曲であるが、生徒の創作なのか、それとも何か元になる曲があるのか、私は今もって分からないままである。

私の思い出の品

井上 武志（高20回）



広瀬川につくられた「ウォーターシュート」で、「ロープウェイ」とも大人気でした。仲の瀬橋は「工兵橋」と愛称されたもので、第二師団の工兵隊が一週間で架け替えました。

仙台二高（旧二中）は、昭和3年4月に開催された『東北産業博覧会』の跡地に移転しました。これが現在の校地で、それ以前は北六番丁（大学病院裏）にありました。



博覧会の当時の絵葉書で、旧校舎が利用されています。

創立記念講演会

「無伴奏チェロ作品の発展の歴史」

チェリスト 丸山 泰雄氏 (高35回)

五月一日(月)の開校記念日に、講堂にて、創立記念講話が行われました。講師には本校OBである、高校35回生の丸山泰雄さんをお願いしました。丸山さんは世界的に有名なチェリストです。今回は「無伴奏チェロ作品の発展の歴史」という題で講話をいただきました。三時間を超える講話のうち、半分以上はチェロの演奏で、バツハから黛敏郎の作品まで、まさしく歴史をたどった内容となりました。

後半は難解な現代音楽で、特に後半は難解な現代音楽で、丸山さんが二高時代はサッカー部だったの、サッカー部を中心にOBが集まり、楽しくひと時を過ごすことができました。丸山さん、ありがとうございます。また演奏とお話が聞けることを楽しみにしております。(事務局)



丸山さん、ありがとうございます。また演奏とお話が聞けることを楽しみにしております。(事務局)

理事会からのお知らせ

北陵祭への参加

九月三、四日(土日)開催された母校の文化祭「第五十八回北陵祭」に今年で五回目の同窓会ブースを設け、十二名の同窓生に絵画、写真などの出展をいただき、更に卒業五十周年の高18回生の新たな試みの出展があり、大好評でした。サロンも今年は冷蔵庫、製氷機を設置し来訪者サービスに努めました。

来年は同窓会ブースを一層充実させたいと思いますので、各支部、各回期、各クラブOB会などから出展をよろしく願います。

大井会長、第66回(平成28年度)河北文化賞を受賞

大井会長は東北初の子ども専門総合病院「宮城県立こども病院」の開設に尽力されるなど東北地方及び世界の小児医療向上への貢献が評価され、本年一月第66回河北文化賞を受賞されました。平成二十七年五月の世界小児外科学会連合から日本人として二人目の「生涯業績賞」受賞に続く慶事です。なお、大井会長は河北文化賞の



仙臺貳高同窓会事務局 村上一郎

同窓会看板について

昨年、村上先生から仙台二高同窓会の看板を制作することを依頼されました。大きな看板となると大変難しいので、できるかどうか不安ではあったが昨年度の書道部部長である鈴木綾香に相談したところ、「卒業記念にやらせてください。」という元気のよい返事でした。顧問としても大変うれしく思い、書道でお世話になっている田代先生に相談し、二高らしさを出すために堂々とした隷書体で刻

字することを指導されました。今年卒業した、鈴木綾香と伊藤萌葉を中心に他の部員も手伝い、思っていた以上に大きな作品に仕上がっています。字の色は部員で話し合い二高色の青にしました。書道部の二高への思いが詰まった作品になったと思っています。

北陵館に来る生徒が、間違っても同窓会事務局に入ってくることはありません。紙に「同窓会事務局」と書いて入り口に貼ってはいませんが、もっと目立つ、少し大きくて格好の良い看板であれば良いのに、と感じていました。そこで、ニュースレターの題字を書いて頂いた書道部にお願いたしたいと考え、顧問の川名先生に相談したところ、快い返事が得られたので、お願いすることにしました。

しばらくして出来上がった看板をみてびっくり、身長ほどの大きさの分厚い杉板に、堂々とした文字で「仙台二高同窓会事務局」と彫ってあります。どれほどの気持ちを入れて作成したのでしょうか、

本当に感謝に堪えません。同窓会側からも、このような厚情に対し、金一封を添え感謝状を贈らせていただきました。

支部・OB 会連絡先

● 支 部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先
N・Y支部	且 英夫 (高20)	且 英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA, 914-921-0771
ローマ支部	武藤 順九 (高20)	武藤 順九 (高20)	Via del Caravaggio, 20 00047 Marino Roma, ITALIA
北海道支部	若生幸一郎 (中43)	加藤 憲和 (高18)	〒065-0034 札幌市南区南33条西8-1-23 011-583-1309
青森県支部	新山 龍治 (高22)	新山 龍治 (高22)	〒030-0845 青森市緑2-15-8 017-774-1009
岩手支部	鈴木 恒男 (高5)	橋浦礼二郎 (高23)	〒020-0103 盛岡市西松園1-9-2 019-662-7028
山形北陵会	仙道富士郎 (高9)	粟野 学 (高26)	〒990-2461 山形市旅籠町3丁目2-3 023-631-0001
福島北陵会	阿部 力哉 (高3)	益田 芳幸 (高3)	〒960-0111 福島市丸子字沢目17-2 024-554-5920
在京同窓会	上条 努 (高24)	練生川淳志 (高30)	〒152-0021 東京都千代田区神田淡路町1-1 神田クレストビル304(株) オール・エージェント内 03-3527-1955
東海北陵会	佐山 泰弘 (高10)	佐山 泰弘 (高10)	〒470-2380 愛知県知多郡武豊町平井6-39 0569-72-4032
関西北陵会	麻喜 宏雄 (高9)	川幡 公章 (高26)	〒672-8091 兵庫県姫路市飾磨区英賀保駅前町72プリーツ202 090-7716-3643
広島支部(休会中)			
気仙沼支部	調整中	調整中	
志津川支部	高橋 長偉 (高11)	高橋 長偉 (高11)	〒986-0741 本吉郡南三陸町志津川十日町1 0226-46-2041
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原 憲 (高8)	後藤 宗徳 (高29)	〒986-0827 石巻市千石町2-10 石巻グランドホテル気付
加美支部	有馬 恒彦 (高18)	大山 匡 (高23)	〒981-4254 加美郡加美町字北町2-181-1 0229-63-3054
塩釜北陵会	大平 眞悦 (高18)	庄子 文康 (高25)	〒985-0005 塩釜市杉の入3-11-1 022-365-6435
黒川支部北陵会	大友 正隆 (高16)	大友 正隆 (高16)	〒981-3515 黒川郡大郷町羽生字原畑27-2 022-359-3222
岩沼支部	四倉 政美 (高10)	桃野 広志 (高23)	〒989-2445 岩沼市二本1丁目6-1 0223-22-0837
亘理会	手戸 雅己 (高15)	手戸 雅己 (高15)	〒989-2351 亘理郡亘理町字五日町 60-1 0223-34-1750
角田支部	未定	湯村 周一 (高22)	〒981-1505 角田市角田字町65 0224-63-1331

● 職 域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先
仙台市役所北陵会	石川 浩史 (高32)	砂子田 順 (高58)	〒980-8671 青葉区国分町3-7-1 仙台市総務企画局 人材育成部労務課 022-261-1111 (内)2222
宮城県庁仙台二高養賢会	正木 毅 (高29)	佐藤 仁 (高45)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1 宮城県総務部人事課 022-211-2226
仙教委北陵会	郡山 孝幸 (高25)	東海林恵吾 (高28)	〒982-0014 太白区大野田六反田10-5 大野田小学校 022-247-6654
藤崎北陵会	松原 大介 (高27)	星 史雄 (高37)	〒980-8652 青葉区一番町3-2-17(株) 藤崎 人事部労務担当 022-261-5111
宮歯二高会	太郎丸 浩 (高17)	角田 哲 (高26)	つのだ歯科医院 022-281-4182
北陵ドクター倶楽部	山崎 匡 (高12)	鶴飼 克明 (高28)	仙台医療センター消化器内科 hokuryo.dr@gmail.com

●クラブ

団体名称		代表者	事務局	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	岡崎 正之 (高28)	谷田部達博 (高41)	〒981-3211 仙台市泉区長命ヶ丘東5-4	022-778-3977
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	菊地 房雄 (高18)	福田 瑞久 (高22)	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-3-1 江陽グランドホテル内(福田)	022-267-5111
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間 進 (高21)	中鉢 貴省 (高48)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-12 GMビルディング9F	022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 北陵会	バスケットボール部	西嶋 康雄 (高21)	佐藤 宣男 (高16)	〒981-0961 仙台市青葉区桜ヶ丘1-3-15	022-278-7458
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田 一彦 (高23)	遠藤 英司 (高38)	〒165-0035 東京都中野区白鷺3-22-7-117	080-1133-3072
仙台二高 サッカー部OB会	サッカー部	三井 肇 (高10)	遠藤 廣俊 (高25)	〒989-4102 大崎市鹿島台木間塚字姥ヶ沢 114-4	0229-25-4454
仙台二高ラグビー部 OB会	ラグビー部	本吉 和康 (高11)	桂島 猛 (高34)	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1	022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング部	小栗 康次 (高13)	秋保 茂樹 (高32)	〒021-0866 岩手県一関市新南町55	0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野 誠也 (高22)	〒981-1304 志田郡松山町千石本丸49桃源院	090-6149-0002
仙台二高スキー部 北陵会	スキー部	前田 弘毅 (高28)	斎藤 雅人 (高34)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山7-2	022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部	宮崎 幹男 (高12)	加瀬 延男 (高16)		022-287-3901
仙台二高北陵柔道会	柔道部	佐々木優登 (高16)	鈴木 裕 (高27)	〒984-0836 青葉区新坂町3-19	022-271-3682
仙台二高剣道部 OB会	剣道部	菅野 敦 (高41)	堀之内優樹 (高44)	〒989-0225 白石市東町2-5-28-102	0224-25-9924
仙台二高弓道部 OB会	弓道部	中村 光雄 (中42)	山口 哲男 (高20)	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-40	022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦 康宏 (高31)	三浦 康宏 (高31)	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2	022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	未定	穴戸 義一 (高22)	〒981-0952 仙台市青葉区中山7-14-8	022-278-4448
仙台二高 卓球部北陵会	卓球部	金子 榮 (高2)	鈴木 登 (高17)	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東3-14-19	022-252-4216
バレーボール部 北陵会	バレーボール部	佐野 崇 (高4)	阿部広太郎 (高40)	〒982-0011 仙台市太白区長町3-4-16-1001	022-308-3551
宮城県 仙台第二高等学校 合気道部同窓会	合気道部	岡崎 信 (高20)	吉田 信彌 (高22) 進藤 遼 (高60)	〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1番地 宮城県仙台第二高等学校 合気道部顧問担当教諭気付	022-221-5626 (仙台二高) 0224-25-0024
仙台二高 空手部OB会	空手部		渡辺 秀樹 (高56)		
仙台二高応援団 幹部OB会	応援団	田中於菟彦 (高15)	田中於菟彦 (高15)	〒986-0912 仙台市青葉区天守台 青葉城本丸会館	022-222-0218
二吹会	吹奏楽部 (プラスバンド部)	松永 雄治 (高12)	但木 均 (高22)	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-1-1201	090-4044-1234
	演劇部	西條 昭将 (高15)	西條 昭将 (高15)	〒191-0053 東京都日野市豊田2-3-12	042-583-4997
	写真部	伊勢 隆一 (高19)	伊勢 隆一 (高19)	〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-6-32	022-222-1720

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

【連絡先】 仙台二高同窓会事務局 〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1
 担当 佐々木恵理 TEL/022-221-5651 FAX022-221-5686
 月・水・金 10:00~15:00 Eメール/info@sendainiko-dousoukai.com
 同窓会ML/nikodousoukai@googlegroups.com(詳しくはp30)

平成29年度 年間行事予定

4月26日	水	大運動会（活動助成）	仙台二高校庭	
5月1日	月	創立116周年記念講演会 講師 チェロ奏者 丸山 泰雄 氏（高35）	仙台二高講堂	13時15分
5月13日	土	定期戦祝勝会	K O B Oスタ宮城	16時00分
5月21日	日	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	東蔵王ゴルフ倶楽部	8 時00分
5月28日	日	定例評議員会	江陽グランドホテル	16時00分
6月14日	水	当番回期打ち合わせ会（高28、29、40、41、52、53回）	北陵館	19時00分
6月15日	木	同窓会報第50号発刊		
7月1日	土	校内ツアー	仙台二高	15時00分
7月1日	土	総 会 講演会 演題 鬼太鼓座のあゆみ 講師 松田 惺山（高28） グラブ活動後援会への寄付	江陽グランドホテル	17時00分
9月2日	土	北陵祭	仙台二高	
9月3日	日	同窓会ブース開設		
11月15日	水	当番回期・P T A合同第一回打ち合わせ会（高29、30、41、42、53、54回）	北陵館	18時30分
12月1日	金	ニュースレター第4号発刊		
12月13日	水	当番回期・P T A合同第二回打ち合わせ会（高29、30、41、42、53、54回）	江陽グランドホテル	18時30分
1月17日	水	当番回期・P T A合同第三回打ち合わせ会（高29、30、41、42、53、54回）	北陵館	18時30分
1月26日	金	P T A同窓会合同懇親会	江陽グランドホテル	18時00分
2月28日	水	同窓会入会式	本校講堂	10時00分
理事会開催（4/19、5/17、6/14、7/19、8/23、9/20、10/18、11/15、12/13、1/17、2/14、3/14）			北陵館	

◆定期戦祝勝会やゴルフ対抗戦などのイベントは、時期が近づくとホームページやメール等でご案内をします。また、12月1日に発行予定のニュースレターでもご案内しますので、奮ってご参加下さい。

評議員名簿

回期	氏 名	回期	氏 名	回期	氏 名	回期	氏 名	
中40	欠員	高13	志賀 従興		鶴飼 克明		高田 雄史	
中41	欠員		菅野 昭雄	高29	稲辺 和彦		高50	橘 大介
中42	和賀井敏夫	高14	磐井 裕		永見 幸久		高51	平山 雅史
	南條 信郎		笹氣光寿郎	高30	渡邊 善夫		高52	欠員
中43	欠員	高15	近藤 尚武	高31	太田 康裕		高53	栗原 慶太
中44	石井 敏夫		松川 好孝	高32	和賀 久佳		高54	三嶋 廣人
中45	欠員	高16	植田 俊之		松谷 秀則		高55	千葉 祐介
中46	桃生 和夫		坂本 正憲	高33	結城 道広		高56	武藤 卓
中47	佐々木一弘	高17	高橋 賢		千葉 敏彦		高57	京極 自源
	坂田 正雄		山田 信一	高34	大泉 義典		高58	相場 峻
高1	欠員	高18	梅津 珪三	高35	今野 明典		高59	蔡 優広
高2	朝倉 亮		渡辺 康之	高36	柳 雅裕		高60	柴又 賢史
	吉田 敏樹	高19	庄子 友康		首藤 雅浩		高61	日置壮一郎
高3	高橋 正道		遠藤 謙治	高37	天江新太郎		高62	添田 敏寛
	安達 剛	高20	半田 賢		木村 光博		高63	佐久間俊平
高4	毛呂 達夫		中島 俊和	高38	長谷川清人		高64	深松 栞
高5	菅原 正人	高21	内藤 清秀	高39	日下 開			徳永 航平
	高橋 清人		吉田憲三郎	高40	内田 靖		高65	佐渡 惠奈
高6	土岐 満夫	高22	菊田 健三		酒井 紀章			佐藤 泰史
	大友 一郎		熊谷 晴樹	高41	菅沼 恵一		高66	鈴木 小夜
高7	中谷 義信	高23	大友 史祥		利 大作			坂元 宏司
	藤野 尚之		小野寺満明	高42	中久 喜英夫		高67	鈴木 麻優
高8	奥山 隆生	高24	沼倉 和彦	高43	渡邊 勝宏			齋藤 樹
	後藤 潮		二本柳 基	高44	田所 直希		高68	舟生佳奈子
高9	石田 武彦	高25	斎 基之	高45	花本 耕之助			大山 遼
	相澤美智雄		原 敏紀	高46	小野 光利		高69	生田目誉也
高10	四倉 政美	高26	木村 清	高47	八谷 豊			尾形 眞美
	佐野 伸義		角田 哲	高48	大張 慎悟			
高11	高石 祥二	高27	鈴木 裕		武田 力也(H25.8.19)			
高12	米竹 隆	高28	岡崎 正行	高49	落合 和希			

◆評議員が2名制になっています
平成25年度の総会後から、各回期の評議員が2名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出いただき、事務局までご一報下さい。

評議員会 報告

平成二十九年第一回評議員会
平成二十九年五月二十八日(日)
十六時

◇会長挨拶 大井会長

◇議長選出 太田 康裕氏(高31回)

◇協議

第一号議案

二十八年年度事業報告(承認)

第二号議案

二十八年年度収支決算報告・監査報告(承認)

第三号議案

二十九年年度事業計画案(承認)

第四号議案

二十九年年度収支予算案(承認)

第五号議案

役員改選(承認)

◇連絡・報告

・同窓会ホームページのリニューアル

・創立百二十年周年記念事業

◇閉会挨拶 鈴木邦夫副会長

理事会等 記録

平成二十八年六月十五日(水)

・総会の議案・運営

・会報編集の進捗状況

・同窓会名簿上の住所不明者の掘り起し

・秋田支部開設報告
平成二十八年七月六日(水)

・総会次第、資料の確認

・書道部の刻字看板作製の御礼

・北陵祭同窓会ブースの運営

・岩手支部総会報告

・巨理支部総会報告

平成二十八年八月二十四日(水)

・総会・懇親会の総括

・新理事の会務分担

・北陵祭の同窓会ブースの運営

・創立百二十年周年記念事業

・北陵ニュースレター

・青森支部総会報告

・福島支部総会報告

・山形北陵会総会報告

・仙台市役所北陵会総会報告

・岩沼支部総会報告

・北陵ドクター倶楽部総会報告

・HPのリニューアル

平成二十八年九月二十一日(水)

・北陵祭同窓会ブース運営の総括

・北陵ニュースレター

・新任理事の委員会分担

・在京同窓会総会報告

平成二十八年十月十九日(水)

・牛来教頭より校内盗難事件報告

・PT同懇の運営

・HPのリニューアル

・北陵ニュースレター進捗状況

・事務室の環境整備

・週刊ダイヤモンド社の取材依頼

平成二十八年十一月十六日(水)

・PT同懇の運営

・HPリニューアルの中間報告

・北陵ニュースレター進捗状況

・評議員の辞退

・宮城県庁養賢会総会報告

・東海支部総会報告

・岩手支部一・二高合同懇親会報告

平成二十八年十二月二十一日(水)

・PT同懇の運営

・北陵ニュースレター進捗状況

・HP・会報への支部連絡先等の公開

・HPのリニューアル

・仙教委北陵会報告

・塩釜支部総会報告

平成二十九年一月十一日(水)

・PT同懇の運営

・HPのリニューアル

・次期理事選出方法

・大井会長河北文化賞受賞祝賀会

平成二十九年二月十五日(水)

・PT同懇の総括

・ユニグラフィックからリニューアル後のHP説明

・同窓会入会式

・新年度定例評議員会・PT同懇

・会費納入率アップ対策

・創立百二十年周年記念行事予備会議

平成二十九年三月十五日(水)

・同窓会入会式・卒業式の反省

・HP更新の手続き

・評議員からの次期理事候補の推薦

平成二十九年四月十九日(水)

・新年度行事計画

・評議員からの次期理事候補の推薦

平成二十九年四月十九日(水)

・新年度行事計画

・評議員からの次期理事候補の推薦

・評議員からの次期理事候補の推薦

・評議員会・総会の準備状況
・HPへの行事予定コーナーの新設

・会費納入減対策

・関西支部総会報告

・巨理支部総会報告

・大井会長河北文化賞副賞百万円を芸術志望の生徒の奨学金に寄付

平成二十九年五月十七日(水)

・第五十号同窓会報校正

・評議員会の議題・資料整理

・総会の準備状況

・硬式野球定期戦の中止と必勝祈願会の報告

・HPのリニューアル

退任する役員

副会長 鈴木 邦夫 (高 11 回)

副会長 前野 文男 (高 18 回)

副会長 柘澤 慶悦 (高 21 回)

理事 高橋 和男 (高 13 回)

理事 山田修一郎 (高 22 回)

理事 関 裕介 (高 38 回)

会計幹事 三浦 二郎 (高 11 回)

新任理事(案)

理事 山田 信一 (高 17 回)

理事 鈴木 誠一 (高 22 回)

理事 加藤 幹夫 (高 26 回)

理事 高橋 敦 (高 30 回)

理事 渡邊 博之 (高 31 回)

理事 大張 慎悟 (高 48 回)

会計監事 安藤 裕 (高 18 回)

※ 5月28日(日)の評議員会で、承認を得ています

一般会計 平成28年度収支決算・平成29年度予算 (案)

(平成28年 4 月 1 日～平成29年 3 月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	予 算 額 (A)	実 績 額 (B)	(B) - (A)	29 年度予算案
収 入	前 年 度 繰 越 金	3,939,933	3,939,933	0	2,371,677
	年 会 費	10,200,000	9,006,000	△ 1,194,000	9,500,000
	(人 数)	(3,400 人)	(3,000 人)	(△ 400 人)	(3,167 人)
	入 会 金	1,152,000	1,137,600	△ 14,400	1,100,000
	(人 数)	(320 人)	(316 人)	(△ 4 人)	(306 人)
	受 取 利 息	500	48	△ 452	0
	寄 付	0	17,000	17,000	0
	名 簿 等 売 上 金	10,000	3,000	△ 7,000	0
	そ の 他 収 入	100,000	208,276	108,276	150,000
	特 別 会 計 受 入 金	0	0	0	0
収 入 合 計 (C)	15,402,433	14,311,857	△ 1,090,576	13,121,677	
支 出	同 窓 会 報 発 行 費	3,800,000	3,861,585	61,585	3,650,000
	(発 行 通 数)	(15,000 通)	(14,190 通)	(△ 810 通)	(15,000 通)
	ニ ュ ー ス レ タ ー 発 行 費	1,800,000	1,787,857	△ 12,143	1,700,000
	(発 行 通 数)	(15,000 通)	(13,996 通)	(△ 1,004 通)	(15,000 通)
	校 内 活 動 助 成 費	1,500,000	1,320,000	△ 180,000	1,350,000
	卒 業 記 念 品	550,000	518,763	△ 31,237	550,000
	総 会 旅 費 補 助	250,000	122,600	△ 127,400	150,000
	総 会 補 填	450,000	411,414	△ 38,586	300,000
	(出 席 者 数)	(100 人)	(164 人)	(64 人)	(150 人)
	P 同 懇 補 填	200,000	335,474	135,474	200,000
	(出 席 者 数)	(100 人)	(142 人)	(42 人)	(130 人)
	支 部 総 会 等 旅 費	650,000	481,099	△ 168,901	400,000
	支 部 総 会 等 祝 儀	350,000	375,000	25,000	300,000
	会 議 費	300,000	280,570	△ 19,430	300,000
	慶 弔 費	250,000	171,350	△ 78,650	200,000
	人 件 費	720,000	655,314	△ 64,686	700,000
	事 務 消 耗 品 費	100,000	76,290	△ 23,710	100,000
	切 手 葉 書 送 料	150,000	105,395	△ 44,605	150,000
	電 話 料	200,000	161,024	△ 38,976	170,000
	振 込 手 数 料	400,000	338,450	△ 61,550	350,000
	設 備 費	50,000	20,000	△ 30,000	50,000
	雑 費	150,000	47,748	△ 102,252	60,000
	同 窓 会 活 性 化 対 策 費	1,050,000	870,247	△ 179,753	600,000
特 別 会 計 繰 入	0	0	0	0	
予 備 費	2,482,433	0	△ 2,482,433	1,841,677	
支 出 合 計 (D)	15,402,433	11,940,180	△ 3,462,253	13,121,677	
繰 越 金	(C) - (D)	0	2,371,677	2,371,677	0
残 高 H29.3.31	現 金 (事 務 局)		34,858		
	現 金 (事 務 所)		70,251		
	普 通 預 金 (七 十 七)		404,925		
	郵 便 振 込 (泉 南 中 山)		1,861,643		
	郵 便 貯 金 (大 町)				
	仮 払 金				
	未 払 金				
総 会 勘 定 差 引 合 計		2,371,677			

特別会計 平成28年度収支決算 (案)

(平成28年 4 月 1 日～平成29年 3 月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	実 績 額 (B)
収 入	前 年 度 繰 越 金	14,087,060
	預 金 利 息	2,819
	収 入 合 計 (E)	14,089,879
支 出	旗 製 作 費	105,948
	旗 送 料	22,115
	振 込 手 数 料	540
支 出 合 計 (F)	128,603	
次 年 度 繰 越 金	(E) - (F)	13,961,276
預 金 等 残 高 H29.3.31	定 期 預 金 (七 十 七 銀 行)	13,200,000
	普 通 預 金 (七 十 七 銀 行)	761,276
	差 引 合 計	13,961,276

平成二十八年年度

同窓会入会式

平成二十九年二月二十八日(火) 十時から仙台二高講堂において、平成二十八年年度同窓会入会式を執り行い、卒業式を翌日に控えた高69回生三一六名を本同窓生として迎え入れました。

入会式には理事・評議員合わせて十五人が出席し、まず大井同窓会会長の挨拶に始まり、卒業記念品の贈呈や同窓会についての説明、評議員・常任委員の委嘱、新評議員による挨拶、OBからの同窓会紹介などを行いました。

新同窓生への卒業記念品には電波時計、卒業証書入れとしての筒が贈呈されるとともに、菊地喬(中46回)氏より賜った多大なご寄付をもとに、希望の旗として69回生が集い、同窓会活動を活性化させ母校を盛り上げていくようにとの



同窓会入会式

願いを込めて製作された同期会旗が、高17回評議員、山田信一氏から贈呈されました。

会の最後には、同窓会への入会を祝し現役当時応援団幹部であった遠藤理事の旗振りの下、「雨か嵐か」を謳いあげ、母校の発展を祈念し、後輩として「二高」に向けた応援エールにて会を締めくくりに、閉会となりました。

平成二十八年年度

第69回卒業式

平成二十九年三月一日(水) 十時から仙台二高講堂において、平成二十八年年度卒業式が挙行され、前日に仙台二高同窓会に迎えられた三一六名が三年間を過ごした学び舎を旅立ちました。

卒業証書の授与では、各クラスの代表者がそれぞれ証書を受け取りました。中にはその場で教職員に感謝の言葉を述べるなど、随所に二高らしさが垣間見えました。

長島校長による式辞、大井同窓会会長による祝辞において、それぞれ卒業生に向けてはなむけの言葉、そして卒業生の未来がよきものとなるよう激励の言葉を贈り、在校生代表による送辞では、入学当初、仙台二高独自の伝統、校風を纏った先輩方の姿に迫力を覚えたことや、目標となるその姿を見せてくれた感謝を伝え、二高生としての誇りを引き継ぎ、更なる発



卒業式

展への誓いが語られました。

答辞では、三年間を振り返り、教職員や保護者への感謝が述べられるとともに、後輩に向けて二高の伝統を引き継いで欲しいとのメッセージがありました。また、二高魂を胸に宿しながらこれからの未来に向かっていくという力強い決意表明がありました。

式は校歌の斉唱により閉式を迎えました。卒業生退場の直前「ちょっと待った!」と声を上げ、同時に卒業する前応援団幹部三名が壇上に。卒業生と来賓として出席していた同窓生とが声を合わせ「雨か嵐か」を謳い、二高魂を胸に刻みつけ、講堂をあとにしました。

平成二十九年年度

入学式

平成二十九年四月十日(月)、

十三時三十分より平成二十九年年度仙台二高入学式が執り行われました。

式冒頭にて新入生全三三〇名の呼名とともに入学が許可され、長島勝彦学校長による式辞では、入学を祝うとともに昭和に活躍された作家である故・吉川英治氏が遺した「我以外皆我師也」の一節を引きながら、視野を広く保ち周囲との切磋琢磨により成長していく「よき学習者」であるように、そして、学力のみならず、部活動や普段の生活に高い意識を持って取り組み、協調性や想像力、積極性を磨き、人間としての能力を高めていって欲しい旨の激励がありました。

来賓祝辞では、坂口清敏PTA会長、大井同窓会会長からそれぞれ祝いの言葉と激励の言葉が贈られ、大井会長は同窓会が母校の発展支援を行なっている旨を紹介



入学式

しながら是非同窓会活動に関心を持って欲しいとの思いを伝えると共に、二高八景の一つに数えられる雲濤庭の五代校長河合絹吉先生の寿像を引き合いに、二高の沿革と精神性に触れながら新入生を激励しました。

式の最後には在校生合唱部による校歌斉唱が披露され、新入生を迎え入れました。

在籍生徒数 平成29年 4 月 1 日 現在
普通科 1 学年 8 クラス(定員320名)

	男子	女子	計
1 学年	194	129	323
2 学年	195	125	320
3 学年	197	124	321
計	586	378	964

定期戦祝勝会

戦後71回の戦績を互いに31勝31負9分と全くの五分として迎えた、第72回仙台二高一高硬式野球定期戦。

開催が予定されていた五月十三日(土)、十四日(日)両日ともに朝から生憎の空模様により、中止となりました。

例年、仙台二高同窓会、応援団

OB会を中心に行なわれている祝勝会は、開催予定日であった五月十三日(土)に翌日の仙台二高の勝利を願う「必勝祈願会」として実施され、定期戦が開催されなかったにもかかわらず、飛び入りでの参加も多くみられ、世代の近い同窓生と昔話に華を咲かせる、世代を超えた先輩後輩と交流を深めるなど、大いに賑わい盛会となりました。

会の締めくくりには、同窓生の今後の活躍と母校の発展、そして翌日の現役生の勝利を願い、応援団OB有志による旗振りの下に「雨か嵐か」「勝利の歌」を、続いて校歌を歌い、閉会を迎えました。会の翌日も雨模様が続き、定期戦は中止となりましたが、会の最中にはこの日のために努力を重ねた現役三年生の野球部員や応援団幹部、そして入学以来二高生として認められるべく応援練習を行ってきた一年生のためにも、定期戦の延期開催が実現できるよう同窓会としてサポートをしていこうとの声かけもあるなど、仙台二高同窓生として定期戦への特別な想いが語られました。

**硬式野球定期戦は、
毎年五月の第二土曜日に
開催されます。**

**平成29年度二高・一高同窓会
ゴルフ対抗戦開催**

五月二十一日の日曜日、東蔵王ゴルフ倶楽部に於いて二十九年二高・一高同窓会ゴルフ対抗戦が開催されました。新緑のもと、総勢六十一名が集い火花を散らしました。最年長は高3回の高橋正道先輩(二高)、最年少は高60回の渡辺拓也氏(一高)と、幅広い回期の方々が腕を奮いました。二高の五連覇がかかった今年でしたが、残念ながら団体戦は一高・個人戦は佐藤文彦氏(一高38回)が優勝となり、来年の二高の奮起を期待するところです。終了後、大井二高同窓会会長・浅見一高同窓会会長よりご挨拶をいただき和気あいあいと懇親を深め、最後に全北陵ゴルフ会原田会長の総評をもって終了しました。

叙勲受章者

瑞宝小綬賞

石井 孝治殿 (高3回)
H29. 1. 24 (物故)

平成29年度 同窓会總會のご案内

1. 日 時：平成29年 7月1日(土) 総 会17時00分(受付開始は16時30分)
特別講演17時45分 懇 親 会18時30分
2. 場 所：江陽グランドホテル<<地下鉄南北線広瀬通駅下車 西1番出口徒歩0分>>
TEL：022-267-5111
3. 懇親会費：6,000円(学生の方は2,000円)
4. 申込締切：6月26日(月)
★懇親会費は当日、会場でお支払い下さい。
★出席申込は、下記の申込先へFAX、電話またはEメールでお願いします。
5. 申 込 先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1
仙台二高同窓会事務局 TEL 022-221-5651 FAX 022-221-5686
(月・水・金 10:00~15:00) Eメール info@sendainiko-dousoukai.com
6. 当番回期：高28、29、40、41、52、53回
上記回期の方々は、評議員・常任委員を中心にご協力をお願いいたします
7. 関連企画

同期の方、クラブの方、
お誘い合わせの上、
多数ご参加ください。

★特別講演

演題：「鬼太鼓座の歩み」
講師 松田惺山氏(高28：鬼太鼓座代表)
鬼太鼓座メンバーによる演奏も行います

★母校案内ツアー(当日の総会前に実施：母校
正面玄関前15時集合)

★懇親会の席上で、大井会長の河北文化賞受賞
のお祝いをいたします

**PTA・同窓会合同
新年懇親会のご案内**
平成三十年一月二十六日(金)に、恒例のPTA・同窓会合同新年懇親会を開催します。
会場は、例年どおり、江陽グランドホテルで調整中です。詳細は、決まり次第ホームページ等でご案内する予定です。
今から日程を空けておいていただけると幸いです。

【寄付のお願い】

今回理事会としましては、同窓会の財政状況に関連し謹んで以下をお願いをさせていただきます。

平成 25 年度をピークに近年中の会費納入は漸減しており、同窓会活性化と母校支援の積極的な取り組みがいずれ制約される可能性があります。つきましては、皆様に本活動の継続をご理解いただき、年会費とあわせて寄付のご協力を賜りたく存じます。

同封の振込用紙をご利用の場合、印字金額を二重線で消し、訂正印を押印のうえ上部余白に寄付金額を加算した金額をご記載ください。皆様のご協力をお願い申し上げます。

【納入方法】

会報に同封した振込用紙をお使いください。郵便局、銀行両方で利用できます。また下記の銀行口座にお振込みいただいても結構です。その際は振込手数料を差し引いていただき、お名前と卒業同期（あるいは卒業年）をご記入願います。

【振込先】

◇七十七銀行 芭蕉の辻支店 普通口座
 口座番号 0097845
 宮城県仙台第二高等学校 同窓会
 会長 大井 龍司



会費納入のお願い

昨年度の会費納入額の目標は、一昨年度と同様に一、〇二〇万円と設定し、会報やニュースレター、メーリングリスト等で納入をお願いしてきました。結果は残念ながら目標に届きませんでした。平成二十二年以降は九〇〇万円を超える納入額で推移しており、特に高60回以降の若手OBの納入が多いことは心強い限りです。

大井会長の体制になってからは、「同窓会の活性化」を目指して「対一高ゴルフ対抗戦」「定期戦祝勝会」「北陵祭同窓会ブースの開設」「ホームページのリニューアル」等々、会員相互の交流を広げる様々な取組を行っています。いうまでもなく、同窓会の運営は会員各位から納入していただく会費によって賄われています。理事会としては、今後も会員各位が参加できる様々な活動を行うべく所存ですので、多くの皆さまに会費を納めていただくようお願いいたします。身近の会員相互にお声かけをいただき、会費納入促進にご協力下さい。

平成28年度 同窓会費納入状況

回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額
中 28	0	0	0	4	144	72	216,000	27	202	50	150,000	50	178	12	36,000
29	1	0	0	5	142	67	201,000	28	181	52	156,000	51	185	12	36,000
30	0	0	0	6	171	68	204,000	29	175	33	99,000	52	178	15	45,000
31	0	0	0	7	130	45	135,000	30	182	43	129,000	53	194	11	33,000
32	1	1	3,000	8	172	67	201,000	31	170	33	99,000	54	216	13	39,000
33	0	0	0	9	185	74	222,000	32	208	39	117,000	55	188	17	51,000
34	2	0	0	10	195	90	270,000	33	196	40	120,000	56	203	16	48,000
35	2	0	0	11	203	95	285,000	34	184	33	99,000	57	215	21	63,000
36	1	0	0	12	223	81	243,000	35	187	30	90,000	58	212	17	51,000
37	1	0	0	13	189	59	177,000	36	188	34	102,000	59	231	20	60,000
38	1	1	3,000	14	205	89	267,000	37	186	30	90,000	60	237	23	69,000
39	1	1	3,000	15	198	77	231,000	38	171	20	60,000	61	238	16	48,000
40	19	6	18,000	16	206	67	201,000	39	179	29	87,000	62	251	25	75,000
41	24	7	21,000	17	215	72	216,000	40	201	34	102,000	63	260	32	96,000
42	24	10	30,000	18	199	85	255,000	41	196	25	75,000	64	270	35	105,000
43	24	6	18,000	19	171	72	216,000	42	204	13	39,000	65	298	39	117,000
44	46	15	45,000	20	171	54	162,000	43	181	16	48,000	66	276	52	156,000
45	40	12	36,000	21	232	77	231,000	44	176	17	51,000	67	299	35	105,000
46	60	19	57,000	22	257	95	285,000	45	209	16	48,000	68	319	84	252,000
47	62	19	57,000	23	175	57	171,000	46	199	26	78,000	不明		6	18,000
高 1	71	18	54,000	24	184	53	159,000	47	215	22	66,000	合計			9,006,000 円
2	102	35	105,000	25	196	62	186,000	48	209	18	54,000				
3	120	55	165,000	26	197	51	153,000	49	216	14	42,000				

過去 3 年間の大学入試合格状況

				() 内は現役内数								
年度別	29年 3月	28年 3月	27年 3月	年度別	29年 3月	28年 3月	27年 3月	年度別	29年 3月	28年 3月	27年 3月	
大学	合格者数	合格者数	合格者数	大学	合格者数	合格者数	合格者数	大学	合格者数	合格者数	合格者数	
国立大学	222 (115)	229 (122)	234 (127)	国立大学	222 (115)	229 (122)	234 (127)	中央大	45 (10)	57 (33)	35 (14)	
公立大学	14 (6)	8 (5)	20 (7)	公立大学	14 (6)	8 (5)	20 (7)	津田塾大	7 (3)	4 (3)	3 (3)	
私立大学	429 (99)	390 (136)	401 (116)	私立大学	429 (99)	390 (136)	401 (116)	帝京大	2			
大学校・専修・その他の学校	2 (1)	4 (2)	7 (1)	大学校・専修・その他の学校	2 (1)	4 (2)	7 (1)	東海大	3	4 (2)	2	
総計	667 (221)	631 (265)	662 (251)	総計	667 (221)	631 (265)	662 (251)	東京音大			1 (1)	
北海道大	10 (5)	11 (6)	8 (2)	北海道大	10 (5)	11 (6)	8 (2)	東京工科大	1	3		
室蘭工大			1 (1)	室蘭工大			1 (1)	東京慈恵会医大	1	2 (1)	1	
弘前大	8 (4)	2 (2)	1	弘前大	8 (4)	2 (2)	1	東京女子大	1 (1)	1 (1)	2 (2)	
岩手大	6 (4)	5 (4)	6 (3)	岩手大	6 (4)	5 (4)	6 (3)	東京女子医科大	3	1		
東北大	文	7 (6)	11 (9)	10 (8)	東北大	7 (6)	11 (9)	10 (8)	東京電機大	4 (2)	2	3
	法	7 (5)	11 (8)	10 (8)	法	7 (5)	11 (8)	10 (8)	東京都市大		2	
	経済	15 (10)	11 (6)	10 (4)	経済	15 (10)	11 (6)	10 (4)	東京農業大	12 (1)	6 (4)	4
	教育	1	5 (4)	3 (2)	教育	1	5 (4)	3 (2)	東京薬科大	1	5	
	理	8 (4)	6 (3)	10 (7)	理	8 (4)	6 (3)	10 (7)	東京理科大	43 (6)	46 (2)	55 (7)
	工	23 (10)	30 (13)	25 (19)	工	23 (10)	30 (13)	25 (19)	東邦大	1	1	1
	医	13 (8)	23 (12)	14 (5)	医	13 (8)	23 (12)	14 (5)	東洋大	11 (4)		1
	歯	6 (3)	2 (2)	3 (2)	歯	6 (3)	2 (2)	3 (2)	日本大	12 (3)	10 (1)	10 (3)
	薬	5 (3)	7 (2)	8 (4)	薬	5 (3)	7 (2)	8 (4)	日本医科大			2
	農	2 (2)	3 (2)	5 (2)	農	2 (2)	3 (2)	5 (2)	日本歯科大	3	1	1
東北大小計	94 (52)	116 (66)	106 (68)	東北大小計	94 (52)	116 (66)	106 (68)	日本獣医生命大		3	2	
宮城教育大	9 (7)	5 (2)	11 (7)	宮城教育大	9 (7)	5 (2)	11 (7)	日本女子大	1 (1)	2 (1)	2	
秋田大	5 (1)	3 (1)	1 (1)	秋田大	5 (1)	3 (1)	1 (1)	法政大	22 (6)	18 (7)	20 (5)	
山形大	27 (18)	18 (7)	25 (10)	山形大	27 (18)	18 (7)	25 (10)	星薬大	1	2		
福島大	1			福島大	1			武蔵大		1		
茨城大	1	2	1 (1)	茨城大	1	2	1 (1)	武蔵野大	1		3	
筑波大	3 (1)	4 (2)	2 (1)	筑波大	3 (1)	4 (2)	2 (1)	武蔵野美大			1 (1)	
宇都宮大	1 (1)			宇都宮大	1 (1)			明治大	47 (8)	30 (13)	49 (19)	
群馬大	2	3 (1)		群馬大	2	3 (1)		明治学院大	3 (3)	1 (1)	1	
埼玉大	3 (2)	3	4 (2)	埼玉大	3 (2)	3	4 (2)	立教大	7 (3)	3 (1)	7 (5)	
千葉大	7 (4)	8 (5)	1 (1)	千葉大	7 (4)	8 (5)	1 (1)	明治薬大		1		
お茶の水女子大			1	お茶の水女子大			1	早稲田大	26 (4)	32 (13)	38 (14)	
東京海洋大	1			東京海洋大	1			麻布大	1	1		
電気通信大	1 (1)		3	電気通信大	1 (1)		3	神奈川大	2 (1)	2 (1)	1	
東京大	文I	2 (1)		2 (1)	東京大	2 (1)		2 (1)	関東学院大	2		
	文II		1		文I	2 (1)		2 (1)	フェリス女大			1 (1)
	文III		2 (1)	2 (1)	文II		1		新潟薬大			1
	理I	2	3 (2)	12 (8)	文III		2 (1)	2 (1)	金沢医科大			1
	理II	1		1	理I	2	3 (2)	12 (8)	愛知医大			1
	理III		1 (1)		理II	1		1	同志社大	5 (1)	1	6 (1)
	東京大小計	5 (1)	7 (4)	17 (10)	理III		1 (1)		同志社女大			1
	東京医歯大	1	1 (1)		東京大小計	5 (1)	7 (4)	17 (10)	立命館大	5 (2)	9 (4)	9 (2)
	東京外語大	2			東京医歯大	1	1 (1)		龍谷大		1	
	東京学芸大	1 (1)	2 (2)	1 (1)	東京外語大	2			大阪歯大			1
東京芸術大	2 (2)		2 (2)	東京学芸大	1 (1)	2 (2)	1 (1)	関西学院大		1	1	
東京工業大	4	4 (2)	4 (2)	東京芸術大	2 (2)		2 (2)	関西大	1			
東京農工大	1	1		東京工業大	4	4 (2)	4 (2)	近畿大	1	1		
一橋大	3 (2)	9 (7)	8 (7)	東京農工大	1	1		産業医大		1		
横浜国立大	3 (1)	3 (2)	2	一橋大	3 (2)	9 (7)	8 (7)	福岡大			2	
長岡技術科学大	1			横浜国立大	3 (1)	3 (2)	2	沖繩国際大		1 (1)		
新潟大	3 (2)	3	5 (2)	長岡技術科学大	1			私立大学合計	429 (99)	390 (136)	401 (116)	
富山大	2 (1)		1	新潟大	3 (2)	3	5 (2)	防衛大学校		2 (1)	1	
金沢大	1			富山大	2 (1)		1	防衛医科大		1	4	
山梨大		1	1	金沢大	1			大学校合計		3 (1)	5	
信州大	1 (1)			山梨大		1	1	大学・短大・専門	2 (1)	1 (1)	2 (1)	
静岡大	1		1 (1)	信州大	1 (1)			その他合計	2 (1)	1 (1)	2 (1)	
名古屋大	1		2	静岡大	1		1 (1)					
滋賀大		1 (1)		名古屋大	1		2					
京都大	4 (2)	10 (3)	11 (2)	滋賀大		1 (1)						
京都工芸繊維大		1 (1)		京都大	4 (2)	10 (3)	11 (2)					
大阪大	1 (1)	1	2 (1)	京都工芸繊維大		1 (1)						
神戸大	1	2		大阪大	1 (1)	1	2 (1)					
奈良女子大	1	1 (1)		神戸大	1	2						
鳥取大		1 (1)		奈良女子大	1	1 (1)						
				鳥取大		1 (1)						

部活動の記録／運動部成績

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
陸上競技部	走高跳 澁谷 侃① 第6位 三段跳 遠藤りりあ① 第6位 800m 千葉 琢己① 第7位 走幅跳 加藤 彩杜② 第7位 三段跳 加藤 彩斗② 第8位 東北新人大会 (9月30日～10月1日 山形県総合運動公園陸上競技場) 5000mW 相沢 美月② 第4位 全国高校駅伝競走大会宮城県予選会 (10月23日 栗原市) 男子 第7位 女子 第13位	硬式野球部	第10回春季宮城県高等学校野球中部地区大会 第1回戦 仙台二9-2 泉 第2回戦 仙台二0-5 聖和学園 敗者復活第1回戦 仙台二4-6 仙台東 第71回仙台一高・二高硬式野球定期戦 (5月14日 楽天koboスタジアム宮城) 仙台二8-1 仙台一 第98回全国高等学校野球選手権宮城大会 仙台二3-2 中新田 仙台二3-10 泉 第10回秋季宮城県高等学校野球中部地区大会 仙台二7-4 仙台 仙台二2-6 東北学院 敗者復活戦 仙台二3-6 泉館山
ハンドボール部	宮城県春季ハンドボール選手権大会 (4月22日～24日) 二回戦 仙台二20-13 仙台育英 準々決勝 仙台二22-14 県工業 準決勝 仙台二14-26 聖和学園 3位決定戦 仙台二22-19 仙台南 一高二高定期戦 仙台二30-26 仙台一 宮城県高等学校総合体育大会ハンドボール競技 (6月4日～6日) 二回戦 仙台二24-18 仙台商業 準々決勝 仙台二38-22 塩釜 準決勝 仙台二17-31 利府 第52回仙台市民総合体育大会ハンドボール競技大会 (8月8日～9日) ・予選リーグ戦 仙台二6-4 仙台育英 仙台二9-5 仙台 仙台二7-3 仙台商業 ・決勝T 準決勝 仙台二10-15 仙台南 3 決 仙台二8-5 仙台三 第65回宮城県高等学校ハンドボール競技新人大会 (11月3日～5日) 二回戦 仙台二16-14 富谷 準々決勝 仙台二14-13 古川工業 準決勝 仙台二8-18 利府	軟式野球部	仙台一高・仙台二高軟式野球定期戦 (10対4負) (名取市民球場 5月21日) 第65回宮城県高等学校軟式野球春季大会 (利府球場 6月3日) 1回戦 仙台二VS東北 3対5 負 第61回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会 (松島球場 7月18日、19日) 1回戦 仙台二VS尚綱学院 9対2 勝 2回戦 仙台二VS仙台育英 2対12 負 第57回宮城県高等学校軟式野球秋季大会 (松島球場 10月9日) 1回戦 仙台二VS石巻商業 7対8 負
バスケットボール部	第65回宮城県高校総体仙塩地区予選 (5月8日) 仙台二100-29 松島 仙台二73-60 宮城広瀬 リーグ1位で県大会出場 第66回仙台一高・仙台二高定期戦 5月21日(仙台二高体育館) 仙台二62-88 仙台一 通算成績 33勝33敗 第65回宮城県高校総体 (6月4日) 1回戦 仙台二78-56 角田 2回戦 仙台二62-74 仙台南 平成28年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 仙塩地区予選 (10月22日～24日、29日) 男子 ・予選リーグIブロック 仙台二75-57 仙台商業 リーグ1位で県大会出場 ・順位決定トーナメント 1回戦 仙台二54-113 聖和学園 女子 ・予選リーグDブロック 仙台二37-89 常盤木 仙台二56-54 仙台東 ・代表決定トーナメント 1回戦 仙台二63-61 仙台育英 ・代表決定トーナメント 2回戦 仙台二44-75 泉 ・敗者復活トーナメント 仙台二62-73 塩釜	サッカー部	高校総体 (県ベスト16) ・地区予選 (4月29日～5月8日) 仙台二5-0 仙台 仙台二4-0 生活文化 仙台二3-0 泉松陵 仙台二0-1 仙台西 ・県大会 (5月28日、29日) 1回戦 仙台二1-0 石巻工業 2回戦 仙台二2-3 仙台育英 選手権大会 ・1次予選 (7月28日、29日) 仙台二7-0 名取北 仙台二0-1 古川黎明 新人大会 ・地区予選 (10月6日～10月14日) 仙台二11-0 青陵 仙台二3-1 榴ヶ岡 仙台二0-1 仙台三 ・代表決定戦 仙台二2-1 明成 (延長) ・県大会 (11月18日～11月21日) 1回戦 仙台二3-0 古川黎明 2回戦 仙台二0-3 聖和学園
バレーボール部	平成28年度宮城県高等学校バレーボール男子選手権大会県大会 (4月26日、27日) 1回戦 仙台二2-0 気仙沼 準々決勝 仙台二0-2 東北 (県ベスト8) 第66回バレーボール定期戦 (5月21日) 於: 仙台二高 仙台二3-0 仙台一 通算成績33勝33敗 第65回平成28年度宮城県高校総体バレーボール競技 (6月4日～6日) 1回戦 仙台二2-0 仙台南 2回戦 仙台二2-0 富谷 3回戦 仙台二0-2 古川 (県ベスト16) 平成28年度第69回全日本バレーボール選手権大会・1次予選 (8月20日) 2回戦 仙台二2-0 仙台東 決定戦 仙台二2-0 仙台三 (1次予選突破・県大会出場決定) 平成28年度第69回全日本バレーボール選手権大会・県大会 (10月20日) 1回戦 仙台二0-2 仙台商 (県ベスト16) 平成28年度(第37回)仙台市民総合体育大会バレーボール競技 (11月5日～6日)	ラグビー部	7人制大会予選 於 石巻総合運動公園 4月23日 仙台二10対14 仙台三 仙台二32対12 東北学院 高校総体 多賀城高校と合同チーム 於 石巻総合運動公園 1回戦 (5月21日) 合同27対10 利府 2回戦 (5月25日) 合同26対17 白石工 3回戦 (6月1日) 合同17対20 仙台三 (ベスト8) 敗者戦 (6月4日) 合同40対5 仙台工 全国高校ラグビー選手権 (花園大会) 宮城県予選 於 県サッカー場 1回戦 (9月3日) 仙台二26対10 古川工 2回戦 (9月10日) 仙台二0対38 白石工 新人大会 石巻高、宮城水産高と合同 於 石巻総合運動公園 1回戦 (10月30日) 合同14対15 多賀城
		陸上競技部	県高校総体 (5月27日～30日・ひとめぼれスタジアム宮城:利府) 三段跳 我妻 春太③ 第3位 走幅跳 我妻 春太③ 第4位 走高跳 澁谷 侃① 第6位 以上東北大会出場 5000mW 相沢 美月② 第5位 5000mW 保田亜久利③ 第6位 八種競技 細瀨 椋太① 第6位 砲丸投 野村 周平③ 第7位 東北高校総体 (6月17日～20日・青森県総合運動公園陸上競技場:青森市) 三段跳 我妻 春太③ 第7位 走幅跳 我妻 春太③ 第25位 走高跳 澁谷 侃① 第19位 仙台一高・二高 定期戦 (8月5日 仙台市陸上競技場) 仙台二高勝利 (8連覇) 県新人大会 (9月8日～11日・ひとめぼれスタジアム宮城) 5000mW 相沢 美月② 第2位 東北大会出場

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	
硬式テニス部	女子シングルス 4 回戦 横山 歩美① 遠藤 悠② (ベスト32) 5 回戦 岩月 遥① (ベスト16) 平成28年度宮城県夏季ジュニア選手権大会 8月16日～19日 男子シングルス 5 回戦 三沢 達彦② (ベスト32) 馬場 雄大② (ベスト32) 白澤 嘉② (ベスト32) 張 辰吉② (ベスト32) 女子シングルス 9 回戦 岩月 遥① 優勝 (第1位) 平成28年度宮城県高等学校新人大会テニス競技 (個人の部) 9月2日～4日 男子個人の部 男子シングルス 4 回戦 馬場 雄大② (ベスト32) 5 回戦 西郷 匠② (ベスト16) 男子ダブルス 5 回戦 三沢 達彦②・西郷 匠② (ベスト8) 女子個人の部 女子シングルス 5 回戦 横山 歩美① (ベスト16) 9 回戦 岩月 遥① 優勝 (第1位) 女子ダブルス 4 回戦 岩月 遥①・横山 歩美① (ベスト16) 平成28年度宮城県高等学校新人大会テニス競技 (団体の部) 10月5日～7日 男子団体 1 回戦 仙台二4-1 宮城一 2 回戦 仙台二5-0 仙台高専名取 3 回戦 仙台二1-4 東陵 (ベスト8) 女子団体 2 回戦 仙台二2-3 東陵	バレー部	・予選リーグ 仙台二2-0 仙台一 仙台二1-2 仙台東 仙台二2-0 生文大 (リーグ2位通過) ・決勝トーナメント 1 回戦 仙台二0-2 仙台工	
	ソフトテニス部	県総体 男子 団体戦 2 回戦②-0 伊具 3 回戦0-②東北学院 個人戦 黒須・櫻井 2 回戦2-④本吉響 佐治・熊谷 2 回戦④-3 学院榴ヶ岡 3 回戦0-④小牛田農林 力丸・千葉 1 回戦④-2 仙台工業 2 回戦1-④東北学院 女子 団体戦 2 回戦②-0 気仙沼西 3 回戦②-1 名取 4 回戦②-0 宮城広瀬 準々決勝②-1 築館 準決勝0-②東北 東北大会順位決定戦1-②富谷 第3位 東北大会出場 個人戦 新沼・鈴木 2 回戦④-1 古川黎明 3 回戦3-④宮城農業 芳賀・安池 2 回戦④-3 仙台三高 3 回戦0-④東北 藤田・吉田 1 回戦④-0 石巻商業 2 回戦④-0 常盤木学園 3 回戦1-④東北 県新人大会 男子 団体 1 回戦②-0 本吉響 2 回戦0-②東北 個人戦 佐治・櫻井 1 回戦2-④多賀城 石井・蛭名 1 回戦④-3 大河原商業 2 回戦0-④仙台育英 女子 団体戦 1 回戦②-0 仙台育英 2 回戦②-1 石巻桜坂 3 回戦②-1 古川黎明 準々決勝0-②東北 ベスト8 県インドア大会出場 個人戦 藤田・鈴木 1 回戦④-3 大河原商業 2 回戦④-2 角田 3 回戦1-④築館 岩崎・吉田 1 回戦④-2 聖ウルスラ学園 2 回戦2-④古川学園 佐倉・西澤 1 回戦2-④仙台商業	バドミントン部	県バドミントン選手権大会 (男子: 4月22日～24日 女子: 4月23日～25日) 男子ダブルス 奈良 樹・倉増 太郎組 3 回戦進出 男子シングルス 齋藤 凜、奈良 樹 4 回戦進出 女子ダブルス 大泉佐緒莉・阿部みなみ組、 中野 遙香・緒方 葵組、 白玉美希子・大類紗耶香組 3 回戦進出 女子シングルス 三浦みなみ 4 回戦進出 平塚 美有、反畑 葵 3 回戦進出 県総体個人対抗戦 (5月27日、28日) 男子ダブルス 佐藤 篤季・小島 昇馬組、 奈良 樹・倉増 太郎組、 梅津 貴志・齋藤 凜組 2 回戦進出 男子シングルス 齋藤 凜 3 回戦進出 奈良 樹 2 回戦進出 女子ダブルス 三浦みなみ・平塚 美有組、 大泉左緒莉・阿部みなみ組、 中野 遙香・緒方 葵組 2 回戦進出 女子シングルス 初戦敗退 県総体学校対抗戦 (6月3日～6日) 男子 1 回戦 仙台二3-1 気仙沼 2 回戦 仙台二2-3 仙台向山 女子 1 回戦 仙台二1-3 富谷 県ジュニア選手権大会 (男子: 7月27日～29日 女子: 7月25日～27日) 男子ダブルス 齋藤 凜・倉増 太郎組 5 回戦進出 (ベスト32新人大会出場権獲得) 男子シングルス 奈良 樹・小島 昇馬組 3 回戦進出 齋藤 凜 6 回戦進出 (ベスト32新人大会出場権獲得) 倉増 太郎 4 回戦進出 女子ダブルス 大泉佐緒莉・阿部みなみ組 4 回戦進出 (ベスト64) 女子シングルス 大泉佐緒莉、阿部みなみ、花輪 美帆 3 回戦進出 県新人大会 個人対抗戦 (10月24日～25日) 男子ダブルス 倉増 太郎・齋藤 凜組、 小島 昇馬・網野 可偉組 初戦敗退 男子シングルス 齋藤 凜、倉増 太郎 3 回戦進出 女子ダブルス 大泉佐緒莉・阿部みなみ組、 反畑 葵・吉田 由衣組、 花輪 美帆・森本彩里紗組 初戦敗退 女子シングルス 大泉佐緒莉 2 回戦進出 県新人大会 学校対抗戦 (11月6日～8日) 男子 2 回戦 仙台二3-0 明成 3 回戦 仙台二3-1 柴田農 4 回戦 仙台二0-3 聖和 (仙台二はベスト16) 女子 2 回戦 仙台二3-0 古川学園 3 回戦 仙台二0-3 聖和
		【競泳】 県総体 (6月10日～12日 グランディ21総合プール) 男子総合3位 50m自由形 1 位 堀合孝太郎 大会新 100m自由形 1 位 堀合孝太郎 大会新 100m背泳ぎ 3 位 佐々木健朗 200m背泳ぎ 5 位 佐々木健朗 100m平泳ぎ 8 位 齋藤 真怜 400mフリーリレー 3 位 佐々木健朗、堀合孝太郎、 加藤 優弥、跡部 皓斗 800mフリーリレー 3 位 堀合孝太郎、宮内 拓、 佐々木健朗、跡部 皓斗	硬式テニス部	第05回宮城県高等学校体育大会テニス競技 5月27日～5月29日 6月4日～6月6日 ・男子個人の部 男子シングルス 6 回戦 西郷 匠② (ベスト32) 男子ダブルス 5 回戦 三沢 達彦②・西郷 匠② ・男子団体の部 1 回戦 仙台二2-1 仙台商 2 回戦 仙台二1-2 仙台 ・女子個人の部 女子シングルス 5 回戦 三塚 麗加③ (ベスト32) 女子ダブルス 3 回戦 三塚 麗加③・伊藤真亜沙③ 岩月 遥①・横山 歩美① ・女子団体の部 1 回戦 仙台二2-1 泉館山 2 回戦 仙台二2-1 宮城学院 準々決勝 仙台二2-1 多賀城 準決勝 仙台二1-2 宮城第一 (第3位) 東北大会代表決定戦 仙台二0-2 東北学院榴ヶ岡 第71回国体選考会 (少年男女の部) 6月30日～7月3日 男子シングルス 5 回戦 白澤 嘉② (ベスト32) 三沢 達彦② (ベスト32)

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
卓 球 部	<ul style="list-style-type: none"> 女子ダブルス 県大会出場ならず 女子シングルス 県大会出場ならず 宮城県高等学校新人卓球大会 (11月4日～6日 於 名取市民体育館) 男子団体 <ul style="list-style-type: none"> 2回戦 仙台二3-0 村田 3回戦 仙台二0-3 古川学園 ベスト16 男子ダブルス <ul style="list-style-type: none"> 櫻田・内山3-2 蜂谷基・蜂谷竣 (岩ヶ崎) 0-3 結城・渡邊 (古川工) ベスト16 男子シングルス <ul style="list-style-type: none"> 1回戦敗退 岩淵 2回戦敗退 大泉 4回戦敗退 櫻田・内山・郷古 ベスト32 		<ul style="list-style-type: none"> 400mメドレーリレー 3位 佐々木健朗、齋藤 眞恰、堀合孝太郎、跡部 皓斗 200m平泳ぎ 8位 小林 留果 100mバタフライ 5位 河村真結子 200mバタフライ 8位 河村真結子 以上東北大会出場 東北大会 (7月22日～24日 秋田県立総合プール) <ul style="list-style-type: none"> 50m自由形 1位 堀合孝太郎 100m自由形 1位 堀合孝太郎 大会新 インターハイ (8月17日～20日 広島市総合屋内プール) <ul style="list-style-type: none"> 50m自由形 10位 堀合孝太郎 100m自由形 5位 堀合孝太郎 国体県予選会 (7月30日 グランディ21総合プール) <ul style="list-style-type: none"> 少年男子A50m自由形 1位 堀合孝太郎 大会新 少年男子A100m自由形 1位 堀合孝太郎 大会新 少年男子A200m自由形(800mリレーのための参考レース) 1位 堀合孝太郎 国民体育大会 <ul style="list-style-type: none"> 少年男子A50m自由形 13位 堀合孝太郎 少年男子A100m自由形 4位 堀合孝太郎 少年男子A800mフリーリレーメンバーとして出場 堀合孝太郎 県新人戦 (9月16日～18日 グランディ21総合プール) <ul style="list-style-type: none"> 100m平泳ぎ 4位 齋藤 眞恰 東北新人大会出場 200m平泳ぎ 4位 齋藤 眞恰 東北新人大会出場 800m自由形 2位 清水 夏美 200m平泳ぎ 5位 小林 留果 東北新人大会出場 100mバタフライ 4位 河村真結子 東北新人大会出場 200mバタフライ 5位 河村真結子 東北新人大会出場 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会 (8月22日～26日 東京辰巳国際水泳場) <ul style="list-style-type: none"> 100m自由形 5位 堀合孝太郎 100mバタフライ 4位 堀合孝太郎 【水球】 県高校総体 (7月9日、10日 宮城県南総合プール) <ul style="list-style-type: none"> 2位 対 柴田 負 東北大会 (7月9日、10日 宮城県南総合プール) <ul style="list-style-type: none"> 4位 対 福島商 勝 対 柴田、山形工、黒沢尻工 負 ミニ国体(東北総体 8月6日、7日 宮城県仙南総合プール) <ul style="list-style-type: none"> 東 泰地、芳賀 想太 宮城県代表として出場 5位 Bブロックリーグ戦 対 青森、岩手 負 トーナメント戦 対 福島 勝 県新人戦 (7月9日、10日 宮城県南総合プール) <ul style="list-style-type: none"> 2位 対 柴田農 勝 対 柴田 負
フェンシング部	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度宮城県高等学校選抜選手権大会 (1月14日～16日 利府町総合体育館) <ul style="list-style-type: none"> 団体フルーレ 学校対抗男子 <ul style="list-style-type: none"> 第3位 (猪狩、大川、小枝、関川、大塚) 学校対抗女子 <ul style="list-style-type: none"> 第3位 (只野、伊藤、今野、角岡、丸山) 個人フルーレ 少年男子 第4位 猪狩すばる 少年女子 第1位 只野 真由 個人エペ 少年男子 第3位 猪狩すばる 少年女子 第2位 只野 真由 第3位 角張 佑芽 個人サーブル 少年男子 第1位 大川 航平 平成27年度仙台市フェンシング選手権(第25回サーブル杯・第27回エペ杯) (2月6日、7日 秋保体育館) <ul style="list-style-type: none"> 女子サーブル 第6位 今野 愛 女子エペ 第4位 只野 真由 第7位 角張 佑芽 平成28年度第65回宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技 (6月3日～6日 気仙沼市総合体育館) <ul style="list-style-type: none"> 男子 個人フルーレ 第4位*猪狩すばる 第5位 小枝 諒佑 個人エペ 第4位 関川 晃平 個人サーブル 第2位*大川 航平 学校対抗フルーレ (大友、猪狩、大川、関川、大塚) <ul style="list-style-type: none"> 1回戦3-V仙台三 女子 個人フルーレ 第5位 只野 真由 個人エペ 第2位*只野 真由 個人サーブル 第1位☆今野 愛 学校対抗フルーレ (只野、伊藤、今野、角岡、丸山) <ul style="list-style-type: none"> 1回戦2-V仙台南 ☆印：インターハイ・東北大会出場権獲得 *印：東北大会出場権獲得 平成28年度第54回東北高等学校フェンシング選手権大会 (6月24日～27日 一関市総合体育館) <ul style="list-style-type: none"> 男子 個人フルーレ 猪狩すばる 予選プール 2勝3敗 トーナメント1回戦 4-V15村上(気仙沼・宮城) 個人サーブル 大川 航平 予選プール 2勝2敗 トーナメント1回戦 7-V15若月(田名部・青森) 女子 個人エペ 第1位 只野 真由 予選プール 3勝2敗 トーナメント1回戦 V8-7 鬼柳(北上翔南・岩手) トーナメント2回戦 V12-9 菅野(川俣・福島) 準決勝 V12-9 三好(仙台一・宮城) 決勝 V13-12勝浦(一関二・岩手) *女子個人エペの優勝は本校初 個人サーブル 第5位 今野 愛 予選プール 5勝0敗 トーナメント2回戦 10-V15高田(米沢興譲館・山形) 平成28年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技 (8月8日、9日 山口県岩国市総合体育館) <ul style="list-style-type: none"> 個人対抗 女子サーブル 今野 愛 予選プール 2勝2敗 予選トーナメント1回戦 <ul style="list-style-type: none"> 9-V15四井(揖斐・岐阜) 平成28年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 (10月28日～30日 宮城野体育館) <ul style="list-style-type: none"> 男子 団体フルーレ (大塚、阿部、及川、長谷川、平塚) <ul style="list-style-type: none"> 1回戦 2-V気仙沼 女子 個人フルーレ 第4位 丸山想世可 団体フルーレ (角岡、角張、千葉、藤井、丸山) <ul style="list-style-type: none"> 1回戦 2-V仙台一 2017年JOCジュニアオリンピックカップジュニア・カデフェンシング大会県予選会 (11月12日、13日 グランディ21サブアリーナ) <ul style="list-style-type: none"> 全国大会出場権獲得 ジュニアの部 女子フルーレ 角岡あかり 女子エペ 角張 佑芽 	水 泳 部	
		卓 球 部	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県高等学校総合体育大会卓球競技仙塩地区予選 <ul style="list-style-type: none"> 男子団体 <ul style="list-style-type: none"> 1回戦 仙台二3-0 城南 2回戦 仙台二3-2 聖ウルスラ 県大会出場決定 決勝トーナメント 1回戦 仙台二2-3 仙台 女子団体 <ul style="list-style-type: none"> 1回戦 仙台二3-2 育英 2回戦 仙台二3-2 向山 県大会出場決定 決勝トーナメント 1回戦 仙台二3-1 仙台青陵 2回戦 仙台二0-3 聖和 男女ダブルス 県大会出場ならず 男子シングルス 八月朔日③ 加藤③ 内山② 郷古② 能阿弥② 県大会出場 女子シングルス 菅原③ 県大会出場 宮城県高等学校総合体育大会卓球競技 (6月4日～6日) <ul style="list-style-type: none"> 男子団体 2回戦 仙台二3-0 涌谷 3回戦 仙台二0-3 古川学園 女子団体 1回戦 仙台二3-2 仙台三 2回戦 仙台二0-3 常盤木 男子シングルス 1回戦敗退 能阿弥② 2回戦敗退 加藤③ 3回戦敗退 八月朔日③ 内山② 郷古② 女子シングルス 2回戦敗退 菅原③ 宮城県高等学校新人卓球競技仙塩地区予選 <ul style="list-style-type: none"> 男子団体 <ul style="list-style-type: none"> 2回戦 仙台二3-1 仙台工業 県大会出場 決勝トーナメント 2回戦 仙台二2-3 仙台一 女子団体 <ul style="list-style-type: none"> 1回戦 仙台二3-1 宮城広瀬 2回戦 仙台二0-3 利府 第1次敗者復活戦 仙台二2-3 仙台青陵 第2次敗者復活戦 仙台二1-3 東北 第3次敗者復活戦 仙台二1-3 泉 男子シングルス 櫻田② 内山② 郷古② 大泉② 岩淵② 県大会出場 男子ダブルス 櫻田・内山 県大会出場

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	
柔 道 部	女子個人戦 女子48kg級 楠× 1回戦 佐藤○ (白石)	フェンシング部	平成28年度宮城県高等学校選抜選手権大会(エペ・サーブル) (12月24日、25日 グランディ21サブアリーナ) 学校対抗 男子エペ 第1位 (大塚、中塚、平塚、長谷川、佐々木) 1回戦 V45-26仙台一 準決勝 V45-42気仙沼 決勝 V45-27仙台 男子サーブル 第3位 (一條、及川、川島、尾川、菅) 1回戦 25-V45仙台三 女子エペ(角張、藤井、小山、高柳、本間) 1回戦 24-V29仙台 女子サーブル 第2位 (角岡、丸山、千葉、金野、二本) 準決勝 V45-27仙台一 決勝 17-V45仙台 *男子エペは全国高校選抜東北・北海道ブロック予選会 への出場権獲得 個人 男子エペ 第1位 大塚 哲平、 第4位 中塚 新 女子エペ 第3位 角張 佑芽 女子サーブル 第2位 丸山想世可、 第3位 角岡あかり	
弓 道 部	宮城県高校総体弓道競技大会 (6月4日~6日 宮城県弓道場) 男子団体一次予選 20射5中 予選敗退 女子団体一次予選 20射6中 予選敗退 女子個人予選 一次予選 平野 史佳(予選敗退) 二次予選 鈴木 優香・八十川 環 (予選敗退) 宮城県高等学校新人大会弓道競技 (11月3日~5日 宮城県弓道場) 男子団体一次予選 20射4中(予選敗退) 女子団体一次・二次予選 40射16中(予選通過) 準々決勝 60射24中 通過 準決勝 80射29中 敗退 (ベスト8) 男子個人予選 一次予選 枝 北斗(予選敗退) 二次予選 澤口 空良(予選敗退)		県高校総体(6月4日~6日 仙台市体育館) 男子団体予選リーグ 対高専広瀬4-0 対柴田 3-0 予選リーグ1位で決勝トーナメントへ 決勝トーナメント 1回戦シード 2回戦 対石巻商業1-3 ベスト16 女子団体予選リーグ 対登米総合産業3-2 対泉1-3 予選リーグ2位 男子個人戦 北村 奎大 ベスト8(東北大会出場) 高野 響生 4回戦敗退 森田 康平 2回戦敗退 女子個人戦 赤川 瑞紀 1回戦敗退 源生 七海 2回戦敗退 県新人大会(11月11日~13日 角田市総合体育館) 男子個人戦 星 啓太郎 ベスト8 星 航介 3回戦敗退 女子個人戦 菅野なつみ 初戦敗退 長船 花音 初戦敗退 男子団体予選リーグ 対白石2-0 対古川工業2-1 予選リーグ1位で決勝トーナメントへ 決勝トーナメント 2回戦 対東北学院1-0 準々決勝 対石巻商業1-0 準決勝 对小牛田農林0-3 第3位 東北選抜大会出場(4年連続4回目) 女子団体予選リーグ 対聖ウルスラ英智5-0 对小牛田農林0-4 対石巻0-1 予選リーグ3位で敗退	
山 岳 部	宮城県高校総体(6月4日~6日 於 南蔵王連峰) 女子出場 宮城県高校新人大会(10月7日~9日 於 北蔵王連峰) 女子3位	剣 道 部	第121回仙塩地区高等学校柔道大会(4月24日) 男子団体戦 1回戦 仙台二・仙台三合同チーム 対 仙台北城南(3-2勝利) (千葉○・引地○・佐藤○・不戦×・不戦×) (石川×・小野×・鈴木×・玉田○・瀬上○) 2回戦 仙台二・仙台三合同チーム 対 東北(0-5敗退) (千葉×・引地×・佐藤×・不戦×・不戦×) (吉沢○・相馬○・千葉○・阿部○・田中○) 男子個人戦 男子81kg級 佐藤× 1回戦 鈴木○(仙台育英) 第122回仙台二高・仙台一高柔道定期戦(5月21日) 先鋒 佐藤 △ 鈴木(仙台一) 中堅 米山 ○ 天野(仙台一) 大将 塗師 2人残り勝ち 第65回宮城県高等学校総合体育大会柔道競技大会 (6月4日~6日) 男子個人戦 男子81kg級 佐藤○ 1回戦 遊佐×(迫桜) 佐藤× 2回戦 戸澤○(県工) 第66回宮城県高等学校柔道新人大会(10月28日~30日) 男子個人戦 男子90kg級 米山× 2回戦 加賀山○(伊具) 第39回全国高等学校柔道選手権大会宮城県大会(12月17日) 男子個人戦 男子81kg級 佐藤× 1回戦 高橋○(加美農)	
ヨ ッ ト 部	宮城県高校総体(6月4日~5日 七ヶ浜町花洲小浜港) ・男子420級 仙台二高A(畠中 洸哉・岡田 侃) 第1位 東北大会出場権獲得 ・男子FJ級 仙台二高A(赤坂 泰知・北川 巧実・吉田 高天) 第2位 東北大会出場権獲得 ・男子総合 第2位 東北大会(6月17日~19日 七ヶ浜町花洲小浜港) ・男子420級 仙台二高A(畠中 洸哉・岡田 侃) 第4位 全国高校総体【インターハイ】出場権獲得 ・男子FJ級 仙台二高A(赤坂 泰知・北川 巧実・吉田 高天) 第10位 全国高校総体【インターハイ】 (8月12日~16日 和歌山県和歌山市) ・男子420級 仙台二高A(畠中 洸哉・岡田 侃・赤坂 泰知・ 吉田 高天・北川 巧実) 第33位 宮城県高等学校ヨット新人大会 (9月3日、4日 七ヶ浜町花洲小浜港) ・男子420級 仙台二高A(岡田 侃・吉田 高天) 第1位 ・男子FJ級 仙台二高A(北川 巧実・赤坂 泰知) 第1位 ・男子総合 第1位 国体予選(7月16日~18日 七ヶ浜町花洲小浜港) ・少年男子420級 (岡田 侃・吉田 高天) 第2位 (北川 巧実・赤坂 泰知) 第3位 ・少年女子レーザーラジアル級 皆川 詩緒 国民体育大会【岩手国体】出場権獲得 第71回国民体育大会セーリング競技会 (10月1日~5日 岩手県宮古市) ・少年女子レーザーラジアル級 皆川 詩緒 第33位 2016第29回全日本420級選手権大会 (12月23日~25日 東京都江東区) (岡田 侃・吉田 高天) 第30位		柔 道 部	

部活動の記録／学芸部成績

部 名	成 績
美 術 部	第68回宮城県高等学校美術展覧会（1月27日～31日 県美術館） 奨励賞 平山 茉歩 タイトル「案ずる」
写 真 部	第23回宮城県高等学校写真展および第41回全国総文祭写真部門ブレ大会 （入選）澤田 幸希（2年）「人知れず流れる湯滝」「Day Break」「遺物」以上3点 （奨励賞）大友 悠希（2年）「藍色の日曜日」 桜庭 知美（2年）「こすずめスマイル」 澤田 幸希（2年）「Mirror World」 同志社女子大学写真コンテスト [SEITOフォトコン'16] （入選）五十嵐彩乃（1年）「番人クロウ」
物 理 部	第69回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 物理部門（11月5日） 最優秀賞 「音の干渉に関する実験」 2年 前田 隆人・田畑 智佑・熊谷 昂大 物理部長賞 「色彩のもつ熱変換効率」 2年 今野 正大・松崎 太一 優秀賞 「砂時計～砂の落下時間の変化～」 2年 上石 知温・池田 早穂・岡田 舞・佐々木 陸 優秀賞 「巨大人工浮島の最適条件を求めて」 2年 畠山 雄大 優秀賞 「サイフォンの原理」 1年 安藤 一真・石高 永進・佐藤 可惟・藤原 駿介 優秀賞 「日焼け止めの持続時間」 1年 阿部 由佳・越後 瑠璃・村上 摩耶 第6回科学の甲子園みやぎチャレンジ（10月22日） 総合第4位 物理部・化学部・地学部・有志 合同チーム
化 学 部	第69回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 化学部門（11月5日） 最優秀賞 「非水溶媒中における金属の析出反応について」 2年 門間 航輝 優秀賞 「出汁とアミノ酸の関係」 1年 高橋虎太郎・大久保直哉・佐竹 有理・大井 一輝・菅原 鋭豊 優秀賞 「ケミカルガーデンと温度の関係」 2年 高野 桃寧・尾形 一輝、 1年 川崎 三葉・小松 瑞希・菅原 幹生 第6回科学の甲子園みやぎチャレンジ（10月22日） 総合第4位 化学部・地学部・物理部・有志 合同チーム
生 物 部	2016年度サイエンスキャッスル研究費の受給決定（リバネス賞） 株式会社リバネス 「河川のバイオフィルムによる硝化作用の研究」 第69回宮城県高等学校生徒理科研究発表会（11月5日） 部長賞 「光の条件を変化させた場合の硝化作用の変化について」 菅野 千佳、岩澤明香里、笹島のどか、勝又 清馨 サイエンスキャッスル2016 東北大会（12月18日） 奨励賞 「光の条件を変化させた場合の硝化作用のモデル実験」 菅野 千佳、岩澤明香里、笹島のどか、勝又 清馨
地 学 部	第6回科学の甲子園みやぎチャレンジ（10月22日） 総合第4位 地学部・化学部・物理部・有志 合同チーム
吹 奏 楽 部	第29回定期演奏会実施（5月21日 東北大学川内萩ホール） 宮城県管打楽器ソロコンテスト（6月5日 中新田パッパホール） 銀賞 大和田真帆（2年 オーボエ） 銅賞 小松美奈子（3年 アルトサックス） 全日本吹奏楽コンクール第59回宮城県大会（8月4日 イズミティ21） 高等学校の部 銀賞 第50回アンサンブルコンテスト仙台青葉地区大会（12月10日 仙台市広瀬文化センター） フルート3重奏 金賞・県大会出場 サクソフォン4重奏 金賞 クラリネット4重奏 銀賞 金管8重奏 銀賞
合 唱 部	第83回NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクール 高等学校の部 銅賞
囲 碁 部	第40回全国高校総合文化祭囲碁部門（県代表決定戦・4月17日・宮城一高） 宮城県代表：主将：熊谷 晟舜（3年） 副将：加藤 彩杜（2年） 三将：山崎真瞳子（2年） 第40回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会（6月25日 白石キューブ） 男子団体 優勝 仙台二高 全国大会出場 主将：熊谷 晟舜（3年） 副将：加藤 彩杜（2年） 三将：福島悠太郎（1年） 女子団体 優勝 仙台二高 全国大会出場 主将：山崎真瞳子（2年） 副将：岩指 南子（2年） 三将：青木絵莉子（2年） 第40回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会 男子個人宮城県代表決定戦（6月26日 仙台一高） 加藤 彩杜（2年） 優勝 個人戦 全国大会出場 第40回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会（7月25日～27日 東京日本棋院） 男子団体 全国第4位 主将：熊谷 晟舜（3年） 副将：加藤 彩杜（2年） 三将：福島悠太郎（1年） 予選リーグ3勝0敗（岡山・竹園・新宿山吹） 決勝トーナメント 1回戦 対 開成 2勝1敗 2回戦 対 上宮 0勝3敗 女子団体 全国第7位 主将：山崎真瞳子（2年） 副将：岩指 南子（2年） 三将：青木絵莉子（2年） 予選リーグ3勝0敗（大分・鶯谷・渋谷幕張） 決勝トーナメント 1回戦 対 県立西宮 1勝2敗 男子個人 加藤 彩杜（2年）予選リーグ 1勝2敗 第40回全国高等学校総合文化祭囲碁部門（7月30日、31日 広島県尾道市） 都道府県対抗戦 宮城県代表（仙台二高） 全国5位 5勝1敗 主将：熊谷 晟舜（3年） 副将：加藤 彩杜（2年） 三将：山崎真瞳子（2年）

部 名	成 績
囲 碁 部	第17回宮城県高等学校囲碁九路盤大会 (10月14日 仙台市民会館) 第1位 平塚 凜 第30回東北地区高等学校囲碁選手権 (11月12日 岩手県盛岡市) 男子団体 宮城県チーム 第3位 3勝2敗 大将 加藤 彩杜 (2年) 女子団体 宮城県チーム 第2位 3勝1敗 副将 山崎真瞳子 (2年) 女子副将優秀選手 4勝0敗 山崎真瞳子 九路盤全国大会 女子級位者戦 1位 岩指 南子 (2年) 男子大将優秀選手 4勝1敗 加藤 彩杜 個人全国大会
将 棋 部	第52回全国高等学校将棋選手権大会宮城県予選 (5月13日) 男子団体戦 団体優勝 (全国大会出場) 仙台二高 Aチーム 1年 堀川 2年 渡邊、中村 第5位 仙台二高Bチーム 女子団体戦 団体優勝 (全国大会出場) 仙台二高女子チーム 2年 菊地、中嶋、小野寺 第33回28年度宮城県高等学校将棋新人大会 (11月3日) 堀川 将生 男子個人1位 全国大会、東北大会出場 佐藤 達飛 男子個人5位 東北大会出場 菊地 雅子 女子個人3位 全国大会、東北大会出場 中嶋 凜奈 女子個人5位 東北大会出場 第17回東北地区高等学校将棋新人大会 男子個人の部 3位 堀川 将生 4勝1敗 12位 佐藤 達飛 3勝2敗 女子個人の部 4位 菊地 雅子 4勝1敗 12位 中嶋 凜奈 5敗
書 道 部	ふれあい書画展 (6月5日~30日) 特選 石垣 華子、菅原 桃香 宮城県高校生選抜書展 (毎日書道展) (9月16日~21日) 東北電力賞 久保 彩乃 特選 小池 杏奈 秀作 長田 実優、三浦 彩果 第64回宮城県高等学校書道展覧会 (12月6日~11日) 漢字部門 特選 長田 実優、石垣 華子 金賞 板垣 茉衣、國分 優花、東 瑞貴 篆刻刻字部門 特選 三浦 彩果、小池 杏奈 小字部門 金賞 菊池美樹佳、川尻 萌愛
映 画 愛 好 会	eiga worldcup 2016 (11月20日) 地域部門 入選 作品名 「故郷の味」 自由部門 佳作 作品名 「夢境渦紋」

※仙台二高提供の資料を転載しています。

8 /	7 /	6 /	5 /	3 /	3 /	3 /	3 /	3 /	2 /	1 /	1 /	平成 27年	12 /	11 /	8 /	3 /	平成 26年	10 /	5 /	5 /	平成 25年	12 /	平成 24年	10 /	3 /	平成 23年	4 /	平成 22年	7 /	平成 21年	3 /	平成 17年		
服部	大谷	湯下	仲瀬	萱場	菅野	高島	斉藤	小林	関	佐藤	田口		我孫子	矢野	森	宇津志		松浦	佐藤	今野		望月		鳴原	佐々木	六戸	岡崎	大津						
晴男殿	邦夫殿	節男殿	瀬一郎殿	彰殿	淳士殿	邦俊殿	栄夫殿	隆夫殿	経男殿	祐雄殿	健治殿		隆志殿	直孝殿	健殿	彰殿		清勝殿	尚殿	文夫殿		強殿		喜之殿	一之殿	孝殿	誠一殿	俊一殿						
高7回	中41回	高16回	中47回	高18回	中40回	中24回	中47回	高7回	高1回	高2回	高27回		高20回	高1回	中43回	中41回		高10回	高16回	高1回		中43回		中44回	高6回	高18回	高3回	高35回						
6 /	4 /	3 /	3 /	3 /	3 /	2 /	2 /	2 /	1 /	1 /	1 /	平成 28年	12 /	12 /	12 /	12 /	12 /	11 /	11 /	11 /	11 /	10 /	9 /	9 /	9 /	9 /	9 /							
荒川	太田	菊池	山内	国分	菅原	小松	阿部	藤本	関	阿部	望月	泉澤	森	斎藤	谷藤	鈴木	五十嵐		梅津															
晶彦殿	邦義殿	賢殿	鉄生殿	剛彦殿	利之殿	桂次殿	順男殿	昭二殿	淳殿	健殿	芳雄殿	正郎殿	繁殿	久信殿	二郎殿	章殿	誠殿		馨殿															
高9回	高13回	高10回	高1回	高13回	高4回	高10回	中40回	中46回	中43回	高34回	中40回	中43回	高8回	中43回	中40回	中42回	高21回		高14回															

会 員 計 報
(平成29年5月分まで)

11/23	11/9	11/2	11/31	10/24	10/22	10/11	10/6	10/4	9/3	9/2	9/1	8/26	8/26	8/25	8/23	8/23	8/21	8/20	8/14	8/9	8/8	8/6	7/27	7/16	7/13	6/27	6/23	6/22	6/17	6/16	6/8	6/6	6/2	6/2	
森 喜博殿	野口 雅弘殿	田村秀一郎殿	野村 拓夫殿	穴戸 和夫殿	高橋由貴彦殿	早坂明一郎殿	鈴木 旗男殿	塩谷 良平殿	遠藤 良明殿	寺坂 孝雄殿	小畑 一郎殿	諸根 健殿	長谷川仁志殿	嶋原 基一殿	江刺 修殿	廣部 直樹殿	阿部 喬雄殿	木皿 欣一殿	藤沢 義久殿	遠藤 祐弘殿	内海 信雄殿	小森谷 正殿	阿部 昴殿	吉田 太祥殿	川原 尚殿	岡部 茂雄殿	谷本賢一郎殿	三浦 正道殿	木村 寛殿	佗美 旭殿	桂 重俊殿	泉 正殿	塚本 浩殿	千葉 良輔殿	小笠原善行殿
高11回	高11回	高4回	高2回	中42回	高1回	高5回	高11回	中44回	中40回	高4回	高15回	高6回	高4回	中40回	高17回	高1回	中47回	中46回	高15回	高3回	中43回	高15回	高11回	中47回	高8回	高4回	中47回	中43回	高5回	中45回	中40回	高3回	高42回	高18回	高10回

▼転出された先生方▲
牛米 生人 教頭(数学)
(迫桜高校 校長)

今春の人事異動
49号34ページの会員計報欄にある庄司 成志殿の卒業年次に誤りがありました。正しくは(高11回)です。訂正してお詫びいたします。

5/30	5/1	5/1	4/20	4/19	4/9	4/3	3/24	3/24	3/17	3/7	3/4	2/6	2/6	1/30	1/24	12/28	12/25	12/22	12/16	12/10	12/3	11/27
大井 碧殿	桜井 実殿	佐々木嗣郎殿	鈴木 弘明殿	赤井澤勝己殿	斉 養造殿	大友 節殿	磯村 明宏殿	升 敏明殿	佐々木 繁殿	西楨 利男殿	西條 直彦殿	山田 晃殿	佐藤 洋殿	山田 哲義殿	石井 孝治殿	安田 恒人殿	亀卦川富夫殿	岩淵 武彦殿	角田 健一殿	安藤 祐介殿	横山 成紀殿	古田 昭殿
中9回	高3回	中40回	高4回	高23回	高5回	中39回	高28回	高5回	高37回	高11回	高17回	高11回	高10回	高3回	中45回	高11回	高4回	高5回	中45回	中45回	高10回	高10回

渡邊謙太郎 教諭(数学) (佐沼高校)	井上 清 教諭(理科) (名取高校)	武井 有里 教諭(国語) (仙台三桜高校)	小山 裕之 教諭(地・公) (泉館山高校)	早坂 馨 教諭(保・体) (仙台第三高校)	尾形 敦 教諭(国語) (石巻西高校)	佐藤 弘人 教頭(地・公) (仙台二華高校)	小林 俊夫(心のケア支援員) (任期満了)	山元 照夫 非常勤講師(理科) (巨理高校)	安齋 翔太 主事 (光明支援学校)	鎌田麻理子 主査 (気仙沼高校定)	羽田 周平 教諭(理科) (泉館山高校)	坂本 陽子 教諭(理科) (利府高校)	浅沼 謙一 教諭(保・体) (白石高校)	二瓶 拓哉 教諭(国語) (泉館山高校)	小村田達也 教諭(地・公) (泉館山高校)	岩佐 秀一 教諭(数学) (仙台青陵中等教育学校)
------------------------	-----------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------	---------------------------	--------------------------	---------------------------	----------------------	----------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	------------------------------

仙台二高同窓会メーリングリストの利用について
同窓会では、会員が相互に情報交換を行うために、メーリングリスト機能を利用しています。利用に当たっては事前登録が必要です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
<https://sites.google.com/site/sendai2dousoukai/>
なお、「Yahoo」をご利用されていた方も、改めて「Google」での登録を行って下さい。

二高への交通の便<仙台駅前から>

- ▶仙台市営地下鉄(東西線)・国際センター駅下車後徒歩約4分、運賃200円
- ▶仙台市営バス・仙台駅前バスプール16番から730、739系統『二高・県美術館前』下車、運賃180円
- ▶仙台市営市内観光循環バス『るーぶる仙台』・仙台駅前バスプール15-3番、運賃(1回券)260円、(1日券)620円。
(但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山、八幡神社等を大きく経由しています。)

鈴木 雄太 教諭(理科) (黒川高校)	井深 成美 主事 (仙台教育事務所)	乾 豊 主事 (新規採用)	大久保哲平 非常勤講師(理科) (新規任用)	佐藤 直美 主査 (昇任された先生方)	齊藤 智 教諭(国語) (退職された先生方)	村上 二郎 教諭(理科) (再任用・仙台二高)	森 功 主任技師 (再任用・仙台二高)
------------------------	-----------------------	------------------	---------------------------	------------------------	---------------------------	----------------------------	------------------------

編集後記

六年にわたり理事を務めさせていただきましたが、この度退任することとなりました。恥ずかしながら、卒業以来同窓会活動とは無縁だったため、力不足で迷惑をおかけすることも多々ありましたが、楽しく務めることができました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。新理事のご活躍と同窓会の更なる発展を、心よりお祈りいたします。

関 裕介(高38回)